学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							未創	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	国語	科目名	現代の国語											
単位数	2	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →	●							

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 教科書：改訂版新編現代の国語（数研出版）
② 副教材：改訂版新編現代の国語　学習課題ノート（数研出版）
③ 副教材：常用漢字ダブルクリア五訂版（尚文出版）
④

学　習　の　重　点　目　標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。特に実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。また、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書・副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来 授業で学習した内容・漢字についての小テストを実施	①学習課題ノート・課題プリント 単元毎に学習課題ノート・課題プリントを実施 ②意見発表の内容 学習活動の中で、考えを深め意見を発表する活動を実施	①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 小テストや考査後に自己評価や振り返りを実施

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況） B＋	B（概ね満足できる状況） B－	C（努力を要する状況）
知・技	定期考査と小テストの合計得点が８０点以上であり、基本から応用まで概ね理解することができている。	定期考査と小テストの合計得点が５５～７９点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０～５４点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。	探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。		探究的な課題やグループ活動にあまり組むことができていない。
	応用的な問題にも計画的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。	応用的な問題に取り組み、ある程度の思考力や判断力が身についてきている。		応用的な問題にあまり取り組むことができていない。
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。	真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。
	振り返るべき内容を的確に捉えて表現することができ、次の取り組みに活かすことができている。	振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		振り返るべき内容をあまり考えることができていない。

学期		学　習　内　容	時数
第1学期	4月～5月	1　他者と関わる 「学び始める春」 評論の読み方	7 1
		★中間考査	1
	6月～7月	1　他者と関わる 「風が通るとき」	4
		2　対比を読み取る 「水の東西」	4
		★期末考査	1
		<読書感想文　書き方指導>	1
第2学期	8月～9月	3　社会の中で生きる 「目指す世界の地図を作る」	11
		★中間考査	1
	10月～11月	4　言葉の働きをとらえる 「コインは円形か」	6
		5　考えを表現する 「立場や考えを明確にして話し合う一夢十夜（第一夜	6
		★期末考査	1
第3学期	12月～1月	6　情報と向き合う 「SNSに偶然はあるのか」	6
	2月～3月	7　筆者の主張を読み取る 「会話という営み」	6
		8　社会の中の文章 「適切な書式で通知する＜手紙・メール＞」	2
		★期末考査	1
総　時　間　数			59

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							未来	進探	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	国語	科目名	現代の国語											
単位数	2	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →		●						

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 教科書：改訂版新編現代の国語（数研出版）
② 副教材：改訂版新編現代の国語　準拠ワーク（数研出版）
③ 副教材：常用漢字ダブルクリア五訂版（尚文出版）
④ 副教材：新訂版 常用国語便覧（浜島書店）

学　習　の　重　点　目　標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。特に実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。また、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書・副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来 授業で学習した内容・漢字についての小テストを実施	①学習課題ノート･課題プリント 単元毎に学習課題ノート･課題プリントを実施 ②意見発表の内容 学習活動の中で、考えを深め意見を発表する活動を実施	①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 小テストや考査後に自己評価や振り返りを実施

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	定期考査と小テストの合計得点が８０点以上であり、基本から応用まで概ね理解することができている。	定期考査と小テストの合計得点が５５～７９点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０～５４点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。	探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。		探究的な課題やグループ活動にあまり組むことができていない。
	応用的な問題にも計画的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。	応用的な問題に取り組み、ある程度の思考力や判断力が身についてきている。		応用的な問題にあまり取り組むことができていない。
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。	真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。
	振り返るべき内容を的確に捉えて表現することができ、次の取り組みに活かすことができている。	振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		振り返るべき内容をあまり考えることができていない。

学期		学　習　内　容	時数
第1学期	4月～5月	他者と関わる 「風が通るとき」	6
		評論チェックポイント　1 指示語　2 接続語	2
		★中間考査	1
	6月～7月	対比を読み取る 「水の東西」	7
		評論チェックポイント　3 対比	1
		ズームアップ　対義語	1
		★期末考査	1
第2学期	8月～9月	社会のなかで生きる 「一歩でも動く」	6
		探究の扉　「私の仕事」	3
		評論チェックポイント　4 具体例	1
		ズームアップ　類義語	1
		★中間考査	1
	10月～11月	言葉の働きをとらえる 「世間話はなぜするか」	9
		評論チェックポイント　5 キーワード	1
		ズームアップ　同音異義語・同訓異字・慣用句	2
		★期末考査	1
第3学期	12月～1月	情報と向き合う 「ＳＮＳに偶然はあるのか」	5
		筆者の主張を読み取る 「『異文化を理解する』とは」	4
	2月～3月	言葉を使う	3
		★期末考査	1
総　時　間　数			57

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							未創	進探	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	国語	科目名	現代の国語											
単位数	2	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →			●					

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 教科書：改訂版新編現代の国語（数研出版）
② 副教材：改訂版新編現代の国語　学習課題ノート（数研出版）
③ 副教材：常用漢字ダブルクリア五訂版（尚文出版）
④

学　習　の　重　点　目　標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。特に実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。また、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書・副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来 授業で学習した内容・漢字についての小テストを実施	①学習課題ノート・課題プリント 単元毎に学習課題ノート・課題プリントを実施 ②意見発表の内容 学習活動の中で、考えを深め意見を発表する活動を実施	①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 小テストや考査後に自己評価や振り返りを実施

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況） B＋	B（概ね満足できる状況） B－	C（努力を要する状況）
知・技	定期考査と小テストの合計得点が８０点以上であり、基本から応用まで概ね理解することができている。	定期考査と小テストの合計得点が５５～７９点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０～５４点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。	探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。		探究的な課題やグループ活動にあまり組むことができていない。
	応用的な問題にも計画的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。	応用的な問題に取り組み、ある程度の思考力や判断力が身についてきている。		応用的な問題にあまり取り組むことができていない。
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。	真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。
	振り返るべき内容を的確に捉えて表現することができ、次の取り組みに活かすことができている。	振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		振り返るべき内容をあまり考えることができていない。

学期		学　習　内　容	時数
第1学期	4月～5月	1　他者と関わる 「学び始める春」 評論の読み方	7 1
		★中間考査	1
	6月～7月	1　他者と関わる 「風が通るとき」	4
		2　対比を読み取る 「水の東西」	4
		★期末考査	1
		<読書感想文　書き方指導>	1
第2学期	8月～9月	3　社会の中で生きる 「目指す世界の地図を作る」	11
		★中間考査	1
	10月～11月	4　言葉の働きをとらえる 「コインは円形か」	6
		5　考えを表現する 「立場や考えを明確にして話し合う一夢十夜（第一夜	6
		★期末考査	1
第3学期	12月～1月	6　情報と向き合う 「SNSに偶然はあるのか」	6
	2月～3月	7　筆者の主張を読み取る 「会話という営み」	6
		8　社会の中の文章 「適切な書式で通知する＜手紙・メール＞」	2
		★期末考査	1
総　時　間　数			59

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							未創	進探	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	国語		科目名	言語文化										
単位数	2	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →	●							

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 教科書：改訂版新編言語文化（数研出版）
② 問題集：改訂版新編言語文化 準拠ワーク（数研出版）
③
④

学　習　の　重　点　目　標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手として自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書・副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 授業で学習した内容・漢字についての小テストを実施	①準拠ワーク・課題プリント 単元毎の準拠ワーク・課題プリントの取り組み ②意見発表の内容 学習活動の中で、考えを深め意見を発表する活動を実施	①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 小テストや考査後に自己評価や振り返りを実施

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況） B＋	B（概ね満足できる状況） B－	C（努力を要する状況）
知・技	定期考査と小テストで80点以上の得点である。	定期考査と小テストで55点～79点の得点である。	定期考査と小テストで30点～54点の得点である。	定期考査と小テストで29点以下の得点である。
思・判・表	知識や体験を基に、表現したいことを明確にし、自分の体験や思いが伝わるように的確に表現することができている。	知識や体験を基に、表現したいことを明確にし、自分の体験や思いが伝わるように表現することが概ねできている。		表現したいことを明確にしたり、自分の体験や思いが伝わる表現をしたりすることがあまりできてていない。
	レポート作成やグループワーク、意見発表を通して、的確に批評、論述、発表、討論、批評などをすることができている。	レポート作成やグループワーク、意見発表において、論述、発表。討論、批評などをすることが概ねできている。		レポート作成グループワーク、意見発表において、論述、発表、討論、批評などをすることがあまりできていない。
主体性・態度	常に粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができている。	真面目に学習に取り組んでいるが、積極性を要する部分がある。		主体的に学習に取り組むことがあまりできていない。
	振り返るべき内容を考えて表現し、次の取り組みに活かして自己を向上させることが継続的にできている。	振り返るべき内容を考えて表現し、次の取り組みに活かすことが概ねできている。		振り返るべき内容を考えたり表現したりすることだできておらず、自己を向上させる姿勢が見られない。

学期		学　習　内　容	時数
第1学期	4月～5月	(近現代文)地域の「ことば」 とんかつ（三浦哲郎）	5
		【中間考査】	1
	6月～7月	(古文)古文の世界を楽しむ 言語文化と古文　古文に親しもう 児のそら寝（『宇治拾遺物語』）古典文法：動詞・形	4
		(漢文)日本語の中に生きる漢文 言語文化と漢文　訓読のきまり　格言	3
		【期末考査】	1
第2学期	8月～9月	(古)現代にも生きる教え 高名の木登り　丹波に出雲といふ所あり（『徒然草』	5
		(漢)故事と成語 助長　漁夫の利　虎の威を借る狐	5
		(現)詩歌を味わう 短歌　俳句	2
		【中間考査】	1
	10月～11月	(古)昔と変わらない人の心 芥川　筒井筒（『伊勢物語』）	5
		古典文法：助動詞	2
		(漢)漢詩を味わう 中国の漢詩	3
		日本の漢詩	2
		【期末考査】	1
第3学期	12月～1月	(古)和歌が作り出す世界 万葉集　古今和歌集　新古今和歌集	4
		(古)平安宮廷文学の世界 雪のいと高う降りたるを（『枕草子』）	3
	2月～3月	(現)受け継がれる漢文 山月記	7
		【期末考査】	1
総　時　間　数			55

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							未創	進探	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	国語	科目名	言語文化											
単位数	2	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →		●						

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 教科書：改訂版新編言語文化（数研出版）
② 問題集：改訂版新編言語文化 準拠ワーク（数研出版）必携古典文法練習ノート（尚文出版）新明説漢
③ 参考書：必携これからの古典文法〔改訂版〕（尚文出版）　核心古文単語351（尚文出版）
④ 参考書：必携新明説漢文（尚文出版）

学　習　の　重　点　目　標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。すなわち、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技術を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。また、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。そして、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手として自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書で学習した内容について小テストを実施	①準拠ワーク・課題プリント 単元毎の準拠ワーク・課題プリントの取り組み ②グループ活動・発表の内容 練習問題や探究課題についてのグループ活動を実施	①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 小テストや考査後に自己評価や振り返りを実施

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況） B＋	B（概ね満足できる状況） B－	C（努力を要する状況）
知・技	定期考査と小テストの合計得点が８０点以上であり、基本から応用まできちんと理解することができている。	定期考査と小テストの合計得点が５５～７９点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０～５４点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。
思・判・表	自分の知識や体験を基に、表現したいことを明確にし、自分の体験や思いが伝わるよう、表現の仕方を工夫することができて 文章の種類、作品の内容や解釈、成立背景・他作品との関係を踏まえ、読み比べや調べ学習をする活動を通して的確に批評や討論、論述、発表することができている。	自分の知識や体験を基に、表現したいことを明確にし、自分の体験や思いが伝わるよう、ある程度表現の仕方を工夫することができている。 文章の種類、作品の内容や解釈、成立背景・他作品との関係を踏まえ、読み比べや調べ学習をする活動を通して的確に批評や討論、論述、発表することができている。	自分の知識や体験を基に、表現したいことをなかなか明確にできず、自分の体験や思いが伝わるような表現の仕方をあまり工夫することができていない 文章の種類、作品の内容や解釈、成立背景・他作品との関係を踏まえての読み比べや調べ学習をする活動を通して、批評や討論、論述、発表することがあまりできていない。
主体性・態度	計画的に予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができている。	真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。	あまり前向きな気持ちで学習に取り組むことができていない。
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかりと活かすことができている。	振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かすことができていない。	振り返るべき内容をあまり考えることができていない。

学期		学習内容	時数
第1学期	4月～5月	(近現代文)地域の「ことば」 とんかつ（三浦哲郎）	8
		【中間考査】	1
	6月～7月	(古文)古文の世界を楽しむ 言語文化と古文　古文に親しもう 児のそら寝（『宇治拾遺物語』）古典文法：動詞・形	2
		(漢文)日本語の中に生きる漢文 言語文化と漢文　訓読のきまり　格言	4 3
		☆読書感想文	
		【期末考査】	1
第2学期	8月～9月	(古)現代にも生きる教え 高名の木登り　丹波に出雲といふ所あり（『徒然草』	4
		(漢)故事と成語 助長　漁夫の利　虎の威を借る狐	5 5
		【中間考査】	1
	10月～11月	(古)昔と変わらない人の心 芥川　筒井筒（『伊勢物語』） 古典文法：助動詞	7
		(漢)漢詩を味わう 中国の漢詩 日本の漢詩	6
		【期末考査】	1
第3学期	12月～1月	(古)和歌が作り出す世界 万葉集　古今和歌集　新古今和歌集	6
		(古)平安宮廷文学の世界 雪のいと高う降りたるを（『枕草子』）	2
	2月～3月	(漢)２．漢詩 絶句と律詩～七首	4
		(現)３．詩歌 柳あをめる【短歌】・雪の深さを【俳句】 I was born	2
		【期末考査】	1
総時間数			63

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						未創	進探	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	国語	科目名	言語文化										
単位数	3	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →			●					

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 教科書：改訂版新編言語文化（数研出版）
② 問題集：改訂版新編言語文化 準拠ワーク（数研出版）
③ 参考書：必携これからの古典文法〔改訂版〕（尚文出版）、核心古文単語351（尚文出版）
④ 参考書：必携新明説漢文 改訂版（尚文出版）

学　習　の　重　点　目　標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手として自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書・副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 授業で学習した内容・漢字についての小テストを実施	①準拠ワーク・課題プリント 単元毎の準拠ワーク・課題プリントの取り組み ②意見発表の内容 学習活動の中で、考えを深め意見を発表する活動を実施	①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 小テストや考査後に自己評価や振り返りを実施

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況） B＋	B（概ね満足できる状況） B－	C（努力を要する状況）
知・技	定期考査と小テストで80点以上の得点である。	定期考査と小テストで55点～79点の得点である。	定期考査と小テストで30点～54点の得点である。	定期考査と小テストで29点以下の得点である。
思・判・表	知識や体験を基に、表現したいことを明確にし、自分の体験や思いが伝わるように的確に表現することができている。	知識や体験を基に、表現したいことを明確にし、自分の体験や思いが伝わるように表現することが概ねできている。		表現したいことを明確にしたり、自分の体験や思いが伝わる表現をしたりすることがあまりできてていない。
	レポート作成やグループワーク、意見発表を通して、的確に批評、論述、発表、討論、批評などをすることができている。	レポート作成やグループワーク、意見発表において、論述、発表。討論、批評などをすることが概ねできている。		レポート作成グループワーク、意見発表において、論述、発表、討論、批評などをすることがあまりできていない。
主体性・態度	常に粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができている。	真面目に学習に取り組んでいるが、積極性を要する部分がある。		主体的に学習に取り組むことがあまりできていない。
	振り返るべき内容を考えて表現し、次の取り組みに活かして自己を向上させることが継続的にできている。	振り返るべき内容を考えて表現し、次の取り組みに活かすことが概ねできている。		振り返るべき内容を考えたり表現したりすることだできておらず、自己を向上させる姿勢が見られない。

学期		学　習　内　容	時数
第1学期	4月～5月	(近現代文)地域の「ことば」 とんかつ（三浦哲郎）	7
		(古文)古文の世界を楽しむ 言語文化と古文　古文に親しもう 児のそら寝（『宇治拾遺物語』）古典文法：動詞・形	6
		【中間考査】	1
	6月～7月	(漢文)日本語の中に生きる漢文 言語文化と漢文　訓読のきまり　格言　訓読の基本	4
		(古文)現代にも生きる教え 高名の木登り　丹波に出雲といふ所あり（『徒然草』 古典文法：形容動詞	9
		【期末考査】	1
第2学期	8月～9月	(漢文)故事と成語 漁夫の利　虎の威を借る狐　管鮑の交わり	7
		(古文)昔と変わらない人の心 芥川　筒井筒（『伊勢物語』）	8
		古典文法：助動詞	4
		【中間考査】	1
	10月～11月	(漢文)漢詩を味わう 中国の漢詩　日本の漢詩	8
		(古文)和歌が作り出す世界 万葉集　古今和歌集　新古今和歌集	8
		(古文)平安宮廷文学の世界 雪のいと高う降りたるを（『枕草子』）	4
		【期末考査】	1
第3学期	12月～1月	(古文)仮名日記文学の原点 門出『（土佐日記』）	6
		(現)受け継がれる漢文 山月記	10
	2月～3月	探究の扉 人虎伝	5
		【期末考査】	1
総　時　間　数			91

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							未創	進探	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	地理歴史		科目名	地理総合										
単位数	2	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →	●							

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 新選地理総合 welcome to geography（実教出版）
② 新詳高等地図（帝国書院）
③
④

学　習　の　重　点　目　標

地理に関わる諸事情について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深めさせる。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 考査の問題は教科書や問題集の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容についての１０分間小テストを実施	①定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②定期考査後の振り返り課題レポートの記述内容を評価	①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートや問題集の提出状況を評価 ③定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況） B＋	B（概ね満足できる状況） B－	C（努力を要する状況）
知・技	定期考査と小テストの合計得点が８０点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。	定期考査と小テストの合計得点が５５～７９点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０～５４点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。	探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。		探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。
	応用的な問題にも計画的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。	応用的な問題に取り組み、ある程度の思考力や判断力が身についてきている。		応用的な問題にあまり取り組むことができていない。
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。	真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。	振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		振り返るべき内容をあまり考えることができていない。

学期		学　習　内　容	時数
第１学期	4月～5月	第２編　国際理解と国際協力 第１章　生活文化の多様性と国際理解 グループ１　自然環境と生活文化 テーマ①地形と生活文化	4
		テーマ②気候と生活文化	2
		★中間考査	1
	6月～7月	テーマ②気候と生活文化	5
		グループ２ テーマ①東アジア	5
		★期末考査	1
第２学期	8月～9月	テーマ①東アジア	6
		グループ３ テーマ②西アジア・北アフリカ	6
		★中間考査	1
	10月～11月	グループ４ テーマ①ヨーロッパ	5
		グループ５ テーマ①北アメリカ	4
		★期末考査	1
第３学期	12月～1月	グループ５ テーマ①北アメリカ	8
		第２章　地球的課題と国際協力	
	2月～3月	第２章　地球的課題と国際協力	7
		★期末考査	1
総　時　間　数			57

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						未創	進探	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	地理歴史	科目名	歴史総合										
単位数	2	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →	●						

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 歴史総合　わたしたちの歴史　日本から世界へ　改訂版　（山川出版）
②
③
④

学　習　の　重　点　目　標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書、授業プリントの内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 学習した内容について小テストを実施	①レポートの内容 探究課題レポートを実施 ②グループ活動・発表の内容 探究課題についてグループ活動を実施	①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 ③自己評価 章ごとに振り返りを実施

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況） B＋	B（概ね満足できる状況） B－	C（努力を要する状況）
知・技	定期考査と小テストの合計得点が８０点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。	定期考査と小テストの合計得点が５５～７９点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０～５４点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。	探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。		探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。
	各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力を身に付けることができている。	各授業時間で学んだ内容について、ある程度多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力が身に付いてきている。		各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断することがあまりできていない。
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。	真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。	振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		振り返るべき内容をあまり考えることができていない。

学期		学　習　内　容	時数
第1学期	4月～5月	第１部　近代化と私たち	
		１　18世紀の世界とアジア　２　産業革命	3
		３　アヘン戦争と日本　４　日本の開国	2
		５　日本開国期の国際情勢　６　開国後の日本社会	2
		７　市民革命と国民統合　８　明治維新	2
		中間考査	1
	6月～7月	９　富国強兵と文明開化　１０　日本明治初期の外交	2
		１１　大日本帝国憲法の制定　１２　日本の産業革命と日清戦争	2
		１３　帝国主義　１４　日露戦争と韓国併合	3
		第２部　国際秩序の変化や大衆化と私たち	
		１　大衆運動の芽ばえ　２　第一次世界大戦	3
		期末考査	1
第2学期	8月～9月	３　第一次世界大戦と日本　４　ロシア革命とその影響	2
		５　社会運動の広がり　６　国際協調	2
		７　アジアの民族運動　８大量生産・大量消費社会	2
		９　世界恐慌　１０　独裁勢力の台頭	2
		１１　日本のアジア侵出　１２　第二次世界大戦	2
		中間考査	1
	10月～11月	１３　第二次世界大戦と日本　１４　第二次世界大戦の終結	3
		１５　戦後国際秩序　１６　冷戦の始まり	3
		１７　日本の戦後改革と日本国憲法　１８　日本の独立	3
		第３部　グローバル化と私たち	
		１　第三世界の登場　２　冷戦の固定化と「雪どけ」	3
		期末考査	1
第3学期	12月～1月	３　冷戦の展開　４　55年体制と安保闘争	2
		５　高度経済成長　６　ベトナム戦争とアメリカ	2
		７　経済構造の変化　８　日本の経済大国化	2
		９　アジアの経済成長　１０　社会主義の停滞と新自由主義	2
		１１　冷戦の終結　１２　冷戦後の地域紛争	2
	2月～3月	１３　地域統合	3
		１４現代世界の諸課題	3
		１５日本の諸課題	3
		期末考査	1
総　時　間　数			65

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							未創	進探	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	地理歴史		科目名	歴史総合										
単位数	2	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →		●						

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 歴史総合　近代から現代へ　改訂版（山川出版社）
②
③
④

学　習　の　重　点　目　標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書・授業プリントの内容より出題 ②小テストの出来具合 学習した内容について小テストを実施	①課題・レポートの内容 各単元ごとに課題やレポートを実施 ②グループ活動・発表の内容 探究課題についてグループ活動を実施	①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 課題・レポート・授業プリントなど ③自己評価・振り返り 各単元・考査後に自己評価や振り

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	定期考査と小テストの合計得点が８０点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。	定期考査と小テストの合計得点が７９～５５点である。	定期考査と小テストの合計得点が５４～３０点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。 各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力を身に付けることができている。	探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。 各授業時間で学んだ内容について、ある程度多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力が身に付いてきている。		探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。 各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断することがあまりできていない。
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。 振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。	真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。 振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。 振り返るべき内容をあまり考えることができていない。

学期		学　習　内　容	時数
第1学期	4月～5月	第Ⅰ部　近代化と私たち　第1章　結びつく世界	
		1　アジア諸地域の繁栄と日本	1
		2　ヨーロッパにおける主権国家体制の形成とヨーロッパ人の海外進出	1
		第2章　近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	
		1　ヨーロッパ経済の動向と産業革命	2
		2　アメリカ独立革命とフランス革命	2
		★中間考査	1
	6月～7月	3・4　19世紀前後半のヨーロッパ　5　19世紀のアメリカ大陸	2
		6　西アジアの変容と南アジア・東南アジアの植民地化	1
		7　中国の開港と日本の開国	2
		第3章　明治維新と日本の立憲体制　1　明治維新と諸改革	2
		2　明治初期の対外関係	1
		3　自由民権運動と立憲体制	1
		★期末考査	1
第2学期	8月～9月	第4章　帝国主義の展開とアジア　1　条約改正と日清戦争	2
		2　日本の産業革命と教育の普及	1
		3　帝国主義と列強の展開　4　世界分割と列強の対立	2
		5　日露戦争とその影響	1
		第Ⅱ部　国際秩序の変化や大衆化と私たち　第5章第一次世界大戦と大衆社会	2
		1　第一次世界大戦とロシア革命	2
		★中間考査	1
	10月～11月	2　国際平和と安全保障　3　アジア・アフリカ地域の民族運動	2
		4　大衆社会と市民生活の変容　5　社会・労働運動の進展と大衆の政治参加	2
		第6章　経済危機と第二次世界大戦　1　世界恐慌の発生と各国の対応	2
		2　ファシズムの台頭　3　日本の恐慌と満州事変	2
		4　日中戦争と国内外の動き　5　第二次世界大戦と太平洋戦争	2
		第7章　戦後の国際秩序と日本の改革　1　新たな国際秩序と冷戦の始まり	2
		★期末考査	1
第3学期	12月～1月	2　アジア諸地域の独立　3　占領下の日本と民主化	2
		4　占領政策の転換と日本の独立	1
		第Ⅲ部　グローバル化と私たち　第8章　冷戦と世界経済	1
		1　集団防衛体制と核開発　2　米ソ両大国と平和共存	2
		3　西ヨーロッパの経済復興　4　第三世界の連携と試練	2
		5　55年体制の成立　6　日本の高度経済成長	2
		7　核戦争の恐怖から軍縮へ　8　冷戦構造のゆらぎ	2
	2月～3月	9　世界経済の転換　10　アジア諸地域の経済発展と市場開放	1
		第9章　グローバル化する世界　1　冷戦の終結と国際情勢	1
		2　ソ連の崩壊と経済のグローバル化　3　開発途上国の民主化と独裁政権の動揺	2
		4　地域紛争の激化　5　国際社会のなかの日本	2
		第10章	
		1　現代世界の諸課題　2　現代日本の諸課題	1
		★期末考査	1
総　時　間　数			61

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						未創	進探	特進	CD	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	地理歴史	科目名	歴史総合											
単位数	2	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →		●						

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 歴史総合　近代から現代へ　改訂版（山川出版社）
②
③
④

学　習　の　重　点　目　標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書・授業プリントの内容より出題 ②小テストの出来具合 学習した内容について小テストを実施	①課題・レポートの内容 各単元ごとに課題やレポートを 実施 ②グループ活動・発表の内容 探究課題についてグループ活動 を実施	①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 課題・レポート・授業プリント など ③自己評価・振り返り 各単元・考査後に自己評価や振り

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況） B＋	B（概ね満足できる状況） B－	C（努力を要する状況）
知・技	定期考査と小テストの合計得点が８０点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。	定期考査と小テストの合計得点が７９～５５点である。	定期考査と小テストの合計得点が５４～３０点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。 各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力を身に付けることができている。	探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。 各授業時間で学んだ内容について、ある程度多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力が身に付いてきている。		探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。 各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断することがあまりできていない。
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。 振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。	真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。 振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。 振り返るべき内容をあまり考えることができていない。

学期		学　習　内　容	時数
第1学期	4月～5月	第Ⅰ部　近代化と私たち　第1章　結びつく世界	
		1　アジア諸地域の繁栄と日本	2
		2　ヨーロッパにおける主権国家体制の形成とヨーロッパ人の海外進出	2
		第2章　近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	
		1　ヨーロッパ経済の動向と産業革命	2
		2　アメリカ独立革命とフランス革命	2
		★中間考査	1
	6月～7月	3・4　19世紀前後半のヨーロッパ　5　19世紀のアメリカ大陸	2
		6　西アジアの変容と南アジア・東南アジアの植民地化	1
		7　中国の開港と日本の開国	2
		第3章　明治維新と日本の立憲体制　1　明治維新と諸改革	2
		2　明治初期の対外関係	1
		3　自由民権運動と立憲体制	1
		★期末考査	1
第2学期	8月～9月	第4章　帝国主義の展開とアジア　1　条約改正と日清戦争	2
		2　日本の産業革命と教育の普及	2
		3　帝国主義と列強の展開　4　世界分割と列強の対立	2
		5　日露戦争とその影響	2
		第Ⅱ部　国際秩序の変化や大衆化と私たち　第5章第一次世界大戦と大衆社会	3
		1　第一次世界大戦とロシア革命	3
		★中間考査	1
	10月～11月	2　国際平和と安全保障　3　アジア・アフリカ地域の民族運動	2
		4　大衆社会と市民生活の変容　5　社会・労働運動の進展と大衆の政治参加	2
		第6章　経済危機と第二次世界大戦　1　世界恐慌の発生と各国の対応	2
		2　ファシズムの台頭　3　日本の恐慌と満州事変	2
		4　日中戦争と国内外の動き　5　第二次世界大戦と太平洋戦争	2
		第7章　戦後の国際秩序と日本の改革　1　新たな国際秩序と冷戦の始まり	3
		★期末考査	1
第3学期	12月～1月	2　アジア諸地域の独立　3　占領下の日本と民主化	2
		4　占領政策の転換と日本の独立	2
		第Ⅲ部　グローバル化と私たち　第8章　冷戦と世界経済	1
		1　集団防衛体制と核開発　2　米ソ両大国と平和共存	1
		3　西ヨーロッパの経済復興　4　第三世界の連携と試練	1
		5　55年体制の成立　6　日本の高度経済成長	
		7　核戦争の恐怖から軍縮へ　8　冷戦構造のゆらぎ	2
	2月～3月	9　世界経済の転換　10　アジア諸地域の経済発展と市場開放	2
		第9章　グローバル化する世界　1　冷戦の終結と国際情勢	1
		2　ソ連の崩壊と経済のグローバル化　3　開発途上国の民主化と独裁政権の動揺	1
		4　地域紛争の激化　5　国際社会のなかの日本	1
		第10章	
		1　現代世界の諸課題　2　現代日本の諸課題	1
		★期末考査	1
総　時　間　数			64

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						未創	進探	特進	CD	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	公民	科目名	公共											
単位数	2	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →	●							

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 教科書：公共（実教出版）
②
③
④

学　習　の　重　点　目　標

考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。また、現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。さらに、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書、授業プリントの内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 学習した内容について小テストを実施	①レポートの内容 探究課題レポートを実施 ②グループ活動・発表の内容 探究課題についてグループ活動を実施	①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 ③自己評価 章ごとに振り返りを実施

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	定期考査と小テストの合計得点が８０点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。	定期考査と小テストの合計得点が５５～７９点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０～５４点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。	探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。		探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。
	各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力を身に付けることができている。	各授業時間で学んだ内容について、ある程度多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力が身に付いてきている。		各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断することがあまりできていない。
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。	真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。	振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		振り返るべき内容をあまり考えることができていない。

学期		学　習　内　容	時数
第1学期	4月～5月	第１部第５章①民主政治の成立	2
		②民主政治の基本原理	2
		③民主政治のしくみと課題	2
		④世界の主な政治制度	2
		★中間考査	1
	6月～7月	第２部第１章①日本国憲法の成立	1
		②日本国憲法の基本的性格	1
		③自由に生きる権利　④平等に生きる権利	2
		⑤社会権と参政権・請求権	2
		⑥新しい人権	1
		⑦人権の広がりと公共の福祉	1
		★期末考査	1
第2学期	8月～9月	第２章①政治機構と国会	3
		②行政権と行政機能の拡大	3
		③公正な裁判の保障	2
		④地方自治と住民福祉	2
		⑤政党政治	2
		⑥選挙制度	2
		★中間考査	1
	10月～11月	⑦世論と政治参加	2
		経済第１章①経済主体と経済活動の意義	2
		②経済社会の変容	2
		③市場のしくみ	2
		④市場の失敗	3
		⑤現代の企業	2
		★期末考査	1
第3学期	12月～1月	⑥国民所得	2
		⑦経済成長と国民の福祉	2
		⑧金融の役割	3
		⑨日本銀行の役割	2
	2月～3月	⑩財政の役割と租税	2
		⑪日本の財政の課題	2
		★期末考査	1
		テーマ学習（各自が選んだテーマ）	2
総　時　間　数			63

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						CD	進探	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	公民	科目名	公共										
単位数	2	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →		●					

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 教科書：公共　新訂版　共につくる未来（実教出版００７－９０２）
②
③
④

学　習　の　重　点　目　標

考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。また、現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力を養う。さらに、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①定期考査の出来具合を評価 教科書、授業プリントの内容を中心に作問 ②小テストの出来具合を評価 学習した内容について小テストを実施	①レポートの記述内容を評価 ②探究課題についての発表内容を評価	①授業中の態度や意欲を評価 ②提出物の内容を評価 ③自己評価

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況） B＋	B（概ね満足できる状況） B－	C（努力を要する状況）
知・技	定期考査と小テストの合計得点が８０点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。	定期考査と小テストの合計得点が５５～７９点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０～５４点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。
思・判・表	公共的な課題に対し、「自立した主体」かつ「協働的な担い手」として、多角的な視点から論理的に考え、根拠を持って表現している。	公共的な課題に対し、自立した主体として複数の視点から考え、学習した概念などの根拠を用いて自分の考えを表現している。		公共的な課題に対し、個人の感想や一元的な視点にとどまったり、根拠が不十分なまま自分の考えを表現したりしている。
	統計データや法理など、客観的根拠が明確で一貫している。	授業で扱った基本概念や用語を適切に使って説明している。		根拠が示されていない、あるいは論理に飛躍がある。
主体性・態度	諸課題を自分事として捉え、他者の意見や新たな情報を踏まえて、自らの考えを客観的に振り返り、よりよい考えへ更新しようとしている。	諸課題に関心を持ち、授業での学びを通じて自らの考えを振り返り、現代社会の担い手として学習に取り組もうとしている。		諸課題に対して関心が薄く、自らの考えを振り返ったり、既成の観念を見直したりしようとする姿勢が不十分である。
	考えの更新に至るプロセスが明確であり、他者の意見を取り入れて自分の考えをブラッシュアップする姿勢が顕著である。	課題に対して真面目に取り組み、これまでの自分の知識や考えと、新しく習ったことを結びつけようとしている。		最初から持っている自分の考え方に固執して、新たな視点を持とうとする姿勢に欠けている。

学期		学　習　内　容	時数
第1学期	4月～5月	第１編第１章	
		①青年期と自己形成	1
		②自己形成の課題　③キャリアと社会参加	1
		④伝統・文化と私たち	2
		第２章①古代ギリシアの人間観　②宗教と人間	2
		③科学と人間	1
		★中間考査	1
	6月～7月	④自由の実現　⑤社会を作る人間	2
		第３章①人間と幸福　②公正な社会をめざして	2
		第４章①人間の尊厳と平等　②自由・権利と責任・義務	2
		第５章①民主政治の成立　②民主政治の基本原理	2
		★期末考査	1
第2学期	8月～9月	③民主政治のしくみと課題　④世界の主な政治制度	2
		第２編第１章①日本国憲法の成立	2
		②日本国憲法の基本的性格	2
		③自由に生きる権利	2
		④平等に生きる権利	2
		⑤社会権と参政権・請求権	2
		★中間考査	1
	10月～11月	⑥新しい人権　⑦人権の広がりと公共の福祉	2
		⑧平和主義とわが国の安全　⑨こんにちの防衛問題	2
		第２章①政治機構と国会	2
		②行政権と行政機能の拡大	2
		③公正な裁判の保障	2
		④地方自治と住民福祉	2
		★期末考査	1
第3学期	12月～1月	⑤政党政治	1
		⑥選挙制度	2
		⑦世論と政治参加	1
		第３章①経済主体と経済活動の意義	1
		②経済社会の変容	2
		③市場のしくみ	2
		④市場の失敗	2
	2月～3月	⑤現代の企業	2
		⑥国民所得	1
		★期末考査	1
総　時　間　数			58

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						CD	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	公民	科目名	公共										
単位数	2	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →			●				

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 教科書：公共　新訂版　共につくる未来（実教出版００７－９０２）
②
③
④

学　習　の　重　点　目　標

考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。また、現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力を養う。さらに、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①定期考査の出来具合を評価 教科書、授業プリントの内容を中心に作問 ②小テストの出来具合を評価 学習した内容について小テストを実施	①レポートの記述内容を評価 ②探究課題についての発表内容を評価	①授業中の態度や意欲を評価 ②提出物の内容を評価 ③自己評価

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	定期考査と小テストの合計得点が８０点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。	定期考査と小テストの合計得点が５５～７９点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０～５４点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。
思・判・表	公共的な課題に対し、「自立した主体」かつ「協働的な担い手」として、多角的な視点から論理的に考え、根拠を持って表現している。	公共的な課題に対し、自立した主体として複数の視点から考え、学習した概念などの根拠を用いて自分の考えを表現している。		公共的な課題に対し、個人の感想や一元的な視点にとどまったり、根拠が不十分なまま自分の考えを表現したりしている。
	統計データや法理など、客観的根拠が明確で一貫している。	授業で扱った基本概念や用語を適切に使って説明している。		根拠が示されていない、あるいは論理に飛躍がある。
主体性・態度	諸課題を自分事として捉え、他者の意見や新たな情報を踏まえて、自らの考えを客観的に振り返り、よりよい考えへ更新しようとしている。	諸課題に関心を持ち、授業での学びを通じて自らの考えを振り返り、現代社会の担い手として学習に取り組もうとしている。		諸課題に対して関心が薄く、自らの考えを振り返ったり、既成の観念を見直したりしようとする姿勢が不十分である。
	考えの更新に至るプロセスが明確であり、他者の意見を取り入れて自分の考えをブラッシュアップする姿勢が顕著である。	課題に対して真面目に取り組み、これまでの自分の知識や考えと、新しく習ったことを結びつけようとしている。		最初から持っている自分の考え方に固執して、新たな視点を持とうとする姿勢に欠けている。

学期		学　習　内　容	時数
第1学期	4月～5月	第１編第１章	
		①青年期と自己形成	1
		②自己形成の課題　③キャリアと社会参加	1
		④伝統・文化と私たち	2
		第２章①古代ギリシアの人間観　②宗教と人間	2
		③科学と人間	2
		★中間考査	1
	6月～7月	④自由の実現　⑤社会を作る人間	2
		第３章①人間と幸福　②公正な社会をめざして	2
		第４章①人間の尊厳と平等　②自由・権利と責任・義務	2
		第５章①民主政治の成立　②民主政治の基本原理	3
		★期末考査	1
第2学期	8月～9月	③民主政治のしくみと課題　④世界の主な政治制度	2
		第２編第１章①日本国憲法の成立	2
		②日本国憲法の基本的性格	2
		③自由に生きる権利	2
		④平等に生きる権利	2
		⑤社会権と参政権・請求権	2
		★中間考査	1
	10月～11月	⑥新しい人権　⑦人権の広がりと公共の福祉	2
		⑧平和主義とわが国の安全　⑨こんにちの防衛問題	2
		第２章①政治機構と国会	2
		②行政権と行政機能の拡大	2
		③公正な裁判の保障	2
		④地方自治と住民福祉	2
		★期末考査	1
第3学期	12月～1月	⑤政党政治	1
		⑥選挙制度	2
		⑦世論と政治参加	1
		第３章①経済主体と経済活動の意義	2
		②経済社会の変容	2
		③市場のしくみ	2
		④市場の失敗	2
	2月～3月	⑤現代の企業	2
		⑥国民所得	1
		⑦経済成長と国民の福祉	1
		★期末考査	1
総　時　間　数			62

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						未創	進探	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	数学	科目名	数学１										
単位数	４	学科	普通科	学年	１年	該当するコース・科 →	●						

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 高校数学Ⅰ　新訂版（実教出版）
② ステップノート数学Ⅰ　新訂版（実教出版）
③
④

学　習　の　重　点　目　標

①数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを目指す。また、数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
②家庭学習をする習慣を身に付け、自己の学習方法を改善・調整しようとする姿勢を身に付ける。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 考査の問題は教科書や問題集の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容についての１０分間小テストを実施	①定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②定期考査後の振り返り課題レポートの記述内容を評価 ③練習問題や探究課題についてのグループ活動や発表の内容を評価	①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートや問題集の提出状況を評価 ③定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	定期考査と小テストの合計得点が８０点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。	定期考査と小テストの合計得点が５５～７９点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０～５４点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。 応用的な問題にも計画的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。	探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。 応用的な問題に取り組み、ある程度の思考力や判断力が身についてきている。		探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。 応用的な問題にあまり取り組むことができていない。
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。 振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。	真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。 振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。 振り返るべき内容をあまり考えることができていない。

学期		学習内容	時数
第１学期	４月～５月	第1章　数と式 第1節　整式 文字を使った式のきまり 整式・整式の加法・減法 整式の乗法　乗法公式による展開 ★中間考査	16 1
	６月～７月	因数分解 第2節　実数 平方根とその計算・実数について 第3節　方程式と不等式 一次方程式 不等式・不等式の性質・一次不等式・連立不等式 ★期末考査	17 1
第２学期	８月～９月	第2章　二次関数 第1節　関数とグラフ 1次関数とそのグラフ 2次関数とそのグラフ 第2節　二次関数の値の変化 二次関数の最大値最小値・二次方程式・二次不等式 ★中間考査	26 1
	１０月～１１月	第3章　三角比 第1節　三角比 三角形・三角比・三角比の利用・三角比の相互関係 第2節　三角比の応用 三角比の拡張 三角形の面積・正弦定理・余弦定理 ★期末考査	25 1
第３学期	１２月～１月	第4章　集合と論証 第1節　集合と論証 集合と要素 命題・いろいろな証明法 第5章　データの分析 第1節　データの分析 統計とグラフ	31
	２月～３月	第5章続き 度数分布表・ヒストグラム 代表値・データの散らばり 外れ値 相関関係・仮説検定の考え方 ★期末試験	1
総　時　間　数			120

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						未創	進探	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	数学	科目名	数学Ⅰ										
単位数	3	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →		●					

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 数研出版　改訂版　高等学校数学Ⅰ
② 数研出版　改訂版　４プロセス　数学Ⅰ＋Ａ
③ 数研出版　改訂版　４プロセス　数学Ⅰ完成ノート
④

学　習　の　重　点　目　標

①数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを目指す。また、数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
②家庭学習をする習慣を身に付け、自己の学習方法を改善・調整しようとする姿勢を身に付ける。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 考査の問題は教科書や問題集の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容についての１０分間小テストを実施	①定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②定期考査後の振り返り課題レポートの記述内容を評価 ③練習問題や探究課題についてのグループ活動や発表の内容を評価	①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートや問題集の提出状況を評価 ③定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	定期考査と小テストの合計得点が８０点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。	定期考査と小テストの合計得点が５５～７９点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０～５４点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。 応用的な問題にも計画的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。	探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。 応用的な問題に取り組み、ある程度の思考力や判断力が身についてきている。		探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。 応用的な問題にあまり取り組むことができていない。
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。 振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。	真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。 振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。 振り返るべき内容をあまり考えることができていない。

学期		学習内容	時数
第1学期	4月～5月	第１章　数と式	
		多項式の加法・減法	3
		多項式の乗法	4
		因数分解	5
		★中間考査	1
	6月～7月	第１章　数と式	
		因数分解続き	2
		実数	3
		一次不等式	5
		第2章　集合と命題	
		命題(集合は数Aでするため省略)	5
		★期末考査	1
第2学期	8月～9月	第３章　二次関数	
		二次関数とグラフ	6
		二次関数の値の変化	8
		二次方程式と二次不等式	8
		★中間考査	1
	10月～11月	第４章　図形と計量	
		三角比	10
		三角形への応用	11
		正弦定理・余弦定理・三角形の面積・空間図形	
		★期末考査	1
第3学期	12月～1月	第5章　データの分析	
		データの整理	4
		データの代表値	5
		データの散らばりと四分位数	5
	2月～3月	第5章　データの分析	
		分散と標準偏差	5
		2つの変量の間の関係	4
		仮説検定について	2
		★期末考査	1
総時間数			100

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						未創	進探	特進	CD	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	数学	科目名	数学Ⅰ											
単位数	3	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →		●						

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 改訂版 高等学校 数学Ⅰ（数研出版）
② 改訂版 高等学校 数学Ⅰ ナビゲーションノート（数研出版）
③ 改訂版 4プロセス 数学Ⅰ（数研出版）
④ 改訂版 チャート式 基礎からの数学Ⅰ＋A（数研出版）

学　習　の　重　点　目　標

数と式，図形と計量，2次関数及びデータの分析について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 考査の問題は教科書や問題集の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容について小単元ごとの小テストを実施	①定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②応用的な問題についてのレポート課題の記述内容を評価 ③探究課題についてグループ活動や発表の内容を評価	①授業中の態度や意欲を評価 ②スタディサプリの実施状況やナビゲーションノートの記述内容を評価 ③定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	定期考査と小テストの合計得点が８０点以上であり，基本的な概念や原理・法則を体系的に理解できている。	定期考査と小テストの合計得点が５５～７９点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０～５４点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０点未満であり，基本的な概念や原理・法則をあまり理解できていない。
思・判・表	適切な手法で問題を解決したり，事象を的確に表現したり，解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりできる。	適切な手法を用いたり，事象を表現したり，解決の過程や結果を考察したりすることがある程度できている。		適切な手法を用いたり，事象を表現したり，解決の過程や結果を考察したりすることがあまりできていない。
	応用的な問題への取り組みや，探究課題のグループ活動において，自分の考え方を論理的に表現できている。	応用的な問題への取り組みや，探究課題のグループ活動において，ある程度自分の考えを表現できている。		応用的な問題への取り組みや，探究課題のグループ活動について，あまり取り組むことができていない。
主体性・態度	数学のよさを認識し，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	数学のよさを認識し，真面目に学習に取り組んではいるが，もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。
	スタディサプリやナビゲーションノートにより，予習や授業の取り組みが充実し，振り返りを活かして改善に努めている。	スタディサプリやナビゲーションノートの実施はできているが，その取り組みは深まっていない。		スタディサプリやナビゲーションノートの実施が不十分であり，振り返るべき内容もあまり考えることができていない。

学期		学　習　内　容	時数
第1学期	4月～5月	第１章　数と式	
		第１節　式の計算	7
		第２節　実数	3
		★中間考査	1
	6月～7月	第１章　数と式	
		第２節　実数	2
		第３節　１次不等式	5
		第２章　集合と命題	6
		★期末考査	1
第2学期	8月～9月	第３章　２次関数	
		第１節　２次関数とグラフ	8
		第２節　２次関数の値の変化	7
		第３節　２次方程式と２次不等式	5
		★中間考査	1
	10月～11月	第３章　２次関数	
		第３節　２次方程式と２次不等式	7
		第４章　図形と計量	
		第１節　三角比	9
		第２節　三角形への応用	4
		★期末考査	1
第3学期	12月～1月	第３章　図形と計量	
		第２節　三角形への応用	6
		第５章　データの分析	8
	2月～3月	問題演習	10
		★期末考査	1
総　時　間　数			92

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						CD	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	数学	科目名	数学Ⅰ										
単位数	3	学科	看護科	学年	1年	該当するコース・科 →							●

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 教科書：新編数学Ⅰ　Flex（実教出版：数Ⅰ007-902）
② 問題集：ラウンドノート 数学Ⅰ 新訂版（実教出版）
③ 補助教材：国試に向けた計算プリント
④

学　習　の　重　点　目　標

①数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを目指す。また、数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
②家庭学習をする習慣を身に付け、自己の学習方法を改善・調整しようとする姿勢を身に付ける。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 問題は問題集の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容についての小テストを実施	①定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②定期考査後の振り返り課題レポートの記述内容を評価 ③グループ活動や発表の内容を評価	①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートやノートの提出状況を評価 ③定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	定期考査と小テストの合計得点が８０点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。	定期考査と小テストの合計得点が５５～７９点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０～５４点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。 応用的な問題にも計画的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。	探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。 応用的な問題に取り組み、ある程度の思考力や判断力が身についてきている。		探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。 応用的な問題にあまり取り組むことができていない。
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。 振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。	真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。 振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。 振り返るべき内容をあまり考えることができていない。

学期		学習内容	時数
第1学期	4月～5月	第１章　数と式 第１節　式の計算 1　整式とその加法･減法 2　整式の乗法 3　因数分解 ★中間考査	13 1
	6月～7月	第２節　実数 1　実数 2　根号を含む式の計算 第３節　１次不等式 1　不等号と不等式 2　不等式の性質　　3　１次不等式 ★期末考査	14 1
第2学期	8月～9月	第２章　集合と論証 第１節　集合と論証 1　集合 2　命題と条件 3　逆･裏･対偶 ★中間考査	19 1
	10月～11月	第３章　２次関数 第１節　２次関数とそのグラフ 1　関数とグラフ 2　２次関数のグラフ 3　２次関数の最大・最小 ★期末考査	19 1
第3学期	12月～1月	4　２次関数の決定 第２節　２次方程式と２次不等式 1　２次関数のグラフと２次方程式	23
	2月～3月	2　２次関数のグラフと２次不等式 そのほか、看護師の実務上必要な各種計算問題実施 ★期末考査	2 1
総　時　間　数			95

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						未創	進探	特進	CD	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	数学	科目名	数学Ａ											
単位数	２	学科	普通科	学年	１年	該当するコース・科 →		●						

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 改訂版 高等学校 数学Ａ（数研出版）
② 改訂版 高等学校 数学Ａ ナビゲーションノート（数研出版）
③ 改訂版 4プロセス 数学Ａ（数研出版）

学　習　の　重　点　目　標

図形の性質，場合の数と確率について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 考査の問題は教科書や問題集の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容について小単元ごとの小テストを実施	①定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②応用的な問題についてのレポート課題の記述内容を評価 ③探究課題についてグループ活動や発表の内容を評価	①授業中の態度や意欲を評価 ②スタディサプリの実施状況やナビゲーションノートの記述内容を評価 ③定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	定期考査と小テストの合計得点が８０点以上であり，基本的な概念や原理・法則を体系的に理解できている。	定期考査と小テストの合計得点が５５～７９点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０～５４点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０点未満であり，基本的な概念や原理・法則をあまり理解できていない。
思・判・表	事象に数学の構造を見いだし，事象の起こりやすさを判断したり，数理的に考察したりすることができる。	事象に数学の構造を見いだし，事象の起こりやすさを判断したり，数理的に考察したりすることがある程度できる。		事象に数学の構造を見いだし，事象の起こりやすさを判断したり，数理的に考察したりすることがあまりできていない。
	応用的な問題への取り組みや，探究課題のグループ活動において，自分の考え方を論理的に表現できている。	応用的な問題への取り組みや，探究課題のグループ活動において，ある程度自分の考えを表現できている。		応用的な問題への取り組みや，探究課題のグループ活動について，あまり取り組むことができていない。
主体性・態度	数学のよさを認識し，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	数学のよさを認識し，真面目に学習に取り組んではいるが，もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。
	スタディサプリやナビゲーションノートにより，予習や授業の取り組みが充実し，振り返りを活かして改善に努めている。	スタディサプリやナビゲーションノートの実施はできているが，その取り組みは深まっていない。		スタディサプリやナビゲーションノートの実施が不十分であり，振り返るべき内容もあまり考えることができていない。

学期		学　習　内　容	時数
第１学期	４月～５月	準備　集合	3
		第１章　場合の数と確率	
		第１節　場合の数	5
		★中間考査	1
	６月～７月	第１章　場合の数と確率	
		第１節　場合の数	5
		第２節　確率	4
		★期末考査	1
第２学期	８月～９月	第１章　場合の数と確率	
		第２節　確率	10
		第２章　図形の性質	
		第１節　平面図形	4
		★中間考査	1
	１０月～１１月	第２章　図形の性質	
		第１節　平面図形	9
		第２節　空間図形	4
		★期末考査	1
第３学期	１２月～１月	第３章　数学と人間の活動	
		第１節　整数の性質	10
	２月～３月	第３章　数学と人間の活動	
		第２節　数学と人間の活動	6
		★期末考査	1
総　時　間　数			65

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						未創	進探	特進	CD	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	数学	科目名	数学Ａ											
単位数	２	学科	普通科	学年	１年	該当するコース・科 →			●					

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 改訂版 高等学校 数学Ａ（数研出版）
② 改訂版 高等学校 数学Ａ ナビゲーションノート（数研出版）
③ 改訂版 4プロセス 数学Ａ（数研出版）
④ 改訂版 チャート式 基礎からの数学Ⅰ＋Ａ（数研出版）

学　習　の　重　点　目　標

図形の性質，場合の数と確率について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 考査の問題は教科書や問題集の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容について小単元ごとの小テストを実施	①定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②応用的な問題についてのレポート課題の記述内容を評価 ③探究課題についてグループ活動や発表の内容を評価	①授業中の態度や意欲を評価 ②スタディサプリの実施状況やナビゲーションノートの記述内容を評価 ③定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	定期考査と小テストの合計得点が８０点以上であり，基本的な概念や原理・法則を体系的に理解できている。	定期考査と小テストの合計得点が５５～７９点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０～５４点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０点未満であり，基本的な概念や原理・法則をあまり理解できていない。
思・判・表	事象に数学の構造を見いだし，事象の起こりやすさを判断したり，数理的に考察したりすることができる。	事象に数学の構造を見いだし，事象の起こりやすさを判断したり，数理的に考察したりすることがある程度できる。		事象に数学の構造を見いだし，事象の起こりやすさを判断したり，数理的に考察したりすることがあまりできていない。
	応用的な問題への取り組みや，探究課題のグループ活動において，自分の考え方を論理的に表現できている。	応用的な問題への取り組みや，探究課題のグループ活動において，ある程度自分の考えを表現できている。		応用的な問題への取り組みや，探究課題のグループ活動について，あまり取り組むことができていない。
主体性・態度	数学のよさを認識し，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	数学のよさを認識し，真面目に学習に取り組んではいるが，もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。
	スタディサプリやナビゲーションノートにより，予習や授業の取り組みが充実し，振り返りを活かして改善に努めている。	スタディサプリやナビゲーションノートの実施はできているが，その取り組みは深まっていない。		スタディサプリやナビゲーションノートの実施が不十分であり，振り返るべき内容もあまり考えることができていない。

学期		学　習　内　容	時数
第１学期	４月～５月	準備　集合	3
		第１章　場合の数と確率 第１節　場合の数	5
		★中間考査	1
	６月～７月	第１章　場合の数と確率 第１節　場合の数	5
		第２節　確率	4
		★期末考査	1
第２学期	８月～９月	第１章　場合の数と確率 第２節　確率	10
		第２章　図形の性質 第１節　平面図形	5
		★中間考査	1
	10月～11月	第２章　図形の性質 第１節　平面図形	9
		第２節　空間図形	4
		★期末考査	1
第３学期	12月～１月	第３章　数学と人間の活動 第１節　整数の性質	11
	２月～３月	第３章　数学と人間の活動 第１節　整数の性質	3
		第２節　数学と人間の活動	6
		★期末考査	1
総　時　間　数			70

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							未創	進探	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	理科		科目名	科学と人間生活										
単位数	2	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →	●							

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 教科書：高等学校　科学と人間生活　改訂版（啓林館）
② 副教材：高等学校　科学と人間生活の学習ノート　改訂版（啓林館）
③
④

学　習　の　重　点　目　標

自然と人間生活とのかかわり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について，身近な事物・現象に関する観察、実験などを通して理解させ、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①定期考査 副教材の問題を中心に作問し、何を理解しているか、何ができるかを評価する。 ②小テスト 普段の学習の過程を通した知識及び習得状況について評価を行う。15分～20分程度。	①レポートの作成・提出 単元ごとに探究レポートを実施する。 ②グループでの話し合い・発表・相互評価 単元ごとにグループ活動を実施する。 ①、②を通して知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、	①授業中の態度、発言や記述の内容 ②提出物の内容 プリントや副教材の問題集の出来具合（すべての問題ができているか、答え合わせややり直しなどができているかなど）。 ③振り返り・自己評価 定期考査や小テスト、グループ活動後に自己の学習を自己評価してより主

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況） B＋	B（概ね満足できる状況） B－	C（努力を要する状況）
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本的な概念や原理・法則などを理解することができている。また、基本問題よりも高度な解決能力を要する問題にも対応できる。	定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。	定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。	定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な概念や原理・法則などをあまり理解することができている。
思・判・表	探究レポートやグループ活動に能動的に取り組み、自分の考えや意見を発表したり、適切に表現できる。	探究レポートやグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えや意見を発表したり、表現できる。		探究レポートやグループ活動にあまり取り組むことができていない。
	発展・応用的な問題にも、筋道をたてて考える力や図やグラフなどを読み取り情報を活用する力を身につけることが出来る。	発展・応用的な問題に対して、さまざまな知識を活用して思考、判断することが出来る。		発展・応用的な問題にあまり取り組むことが出来ない。
主体性・態度	自然の事物・現象に主体的に関わりや見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	自然の事物・現象に関わりや見通しをもったり振り返ったりすることができる。		自然の事物・現象に関わりや見通しをもったり振り返ったりすることがあまりできない。
	毎回の授業に真剣に取り組み、提出物の出来具合も非常に良い。また、授業での積極的な発言やグループ活動での振り返りが見られるなど主体的に学習に取り組む態度が見られる。	毎回の授業に真剣に取り組み、提出物も出ており満足できる内容である。授業での発言やグループ活動へ臨む姿勢の積極性がもう少し必要である。		毎回の授業に対する姿勢や態度があまり前向きでない。提出物の内容も不十分であり、取り組みが雑でやや熱心さに欠ける。授業での発言やグループ活動へ臨む姿勢の積極性がもう少し必要である。

学期		学　習　内　容	時数
第1学期	4月～5月	第1部　第1章　ヒトの生命現象	
		A タンパク質と遺伝子	1
		B ヒトの視覚と光	2
		C 血糖濃度の調節	2
		D 免疫	2
		【中間考査】	1
	6月～7月	第1部　第2章　微生物とその利用	
		A 生態系における微生物	2
		B 微生物と人間の食生活	3
		C 微生物と医学への利用	3
		第2部　第1章　材料とその利用	
		A プラスチック	2
		【期末考査】	1
第2学期	8月～9月	第2部　第1章　材料とその利用	
		B 金属	3
		C セラミック	3
		D 資源の再利用	3
		第2部　第2章　衣料と食品	
		A 衣料の科学	3
		【中間考査】	1
	10月～11月	第2部　第2章　衣料と食品	
		B 食品の科学	3
		第3部　第1章　光の性質とその利用	
		A 光の進み方	3
		B 光の波としての利用	4
		C 電磁波とその利用	2
		【期末考査】	1
第3学期	12月～1月	第2部　第2章　熱の性質とその利用	
		A 熱とは何か	2
		B エネルギーの利用	3
		第4部　第1章　太陽と地球	
		A 身近な天体～太陽と月～	2
		B 潮の満ち引き	2
		C 太陽放射と地球	2
	2月～3月	第4部　第1章　太陽と地球	
		D 大気の運動	2
		第4部　第2章　自然景観と自然災害	
		A 河川のはたらきによる景観と災害	2
		B 地震による景観と災害	3
		C 火山による景観と災害	2
		【期末考査】	1
総　時　間　数			66

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						CD	進探	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	理科	科目名	物理基礎										
単位数	2	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →		●					

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 改訂版　新編　物理基礎（数研出版）
② 改訂版　新編　物理基礎準拠　サポートノート（数研出版）
③
④

学　習　の　重　点　目　標

①日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め，目的意識をもって観察，実験　などを行い，物理学的に探究する能力と態度を身につけるとともに，物理学の基本的な概念や原理・法則を理解し，科学的な見方や考え方を養う。

②家庭学習をする習慣を身に付け、自己の学習方法を改善・調整しようとする姿勢を身に付ける。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容について小テストを実施	①課題レポートの内容 単元毎に探究課題を実施 ②グループ活動・発表の内容 探究課題についてのグループ活動及び発表を実施	①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 授業プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 単元毎に自己評価・振り返りを実施

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり，基本から発展まで万遍なく理解することができている。	定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。	定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。	定期考査と小テストほ合計得点が30点未満であり，基本的な知識や概念があまり理解できていない。
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み，自分の考えを発表したり，適切に表現することができている。 発展的な内容も意欲的に学習し，身近な事物・現象に対し科学的な見方や考え方が身についている。	探究的な課題やグループ活動に取り組み，ある程度自分の考えを述べたり，表現することができている。 発展的な内容も学習し，ある程度の科学的に見方や考え方が身についている。		探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。 発展的な内容を学習することができていない。
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み，グループ活動においても積極的に発言できている。 振り返るべき内容をきちんと考え，次の取り組みにしっかり活かすことができている。	真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。 振り返るべき内容は考えられているが，次の取り組みに活かすことがあまりできていない。		学習面・活動面においてもあまり取り組む気持ちがない。 振り返るべき内容をあまり考えられていない。

学期		学　習　内　容	時数
第1学期	4月～5月	第1部　物体の運動とエネルギー 第1章　物体の運動 第1節　速度 第2節　加速度 第3節　落体の運動 【中間考査】	7 1
	6月～7月	第2章　力と運動 第1節　力 第2節　運動の法則 第3節　様々な力と運動 【期末考査】	8 1
第2学期	8月～9月	第3章　仕事とエネルギー 第1節　仕事 第2節　運動エネルギー 第3節　位置エネルギー 第4節　力学的エネルギーの保存 【中間考査】	11 1
	10月～11月	第2部　熱とエネルギー 第3部　波動 第1章　波の性質 第1節　波の伝わり方 第2節　波の性質 【期末考査】	11 1
第3学期	12月～1月	第2章　音波 第1節　音波の性質 第2節　音波の振動 第4部　電磁気 第1章　静電気と電流 第1節　静電気 第2節　電流	8
	2月～3月	第2章　交流と電磁波 第1節　電磁誘導と発電機 第2節　交流と電磁波 【期末考査】	7 1
総　時　間　数			57

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						CD	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	理科	科目名	物理基礎										
単位数	2	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →			●				

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 改訂版　新編　物理基礎（数研出版）
② 改訂版　新編　物理基礎準拠　サポートノート（数研出版）
③
④

学　習　の　重　点　目　標

①日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め，目的意識をもって観察，実験　などを行い，物理学的に探究する能力と態度を身につけるとともに，物理学の基本的な概念や原理・法則を理解し，科学的な見方や考え方を養う。

②家庭学習をする習慣を身に付け、自己の学習方法を改善・調整しようとする姿勢を身に付ける。

評価の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	①定期考査の出来具合 副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容について小テストを実施	①課題レポートの内容 単元毎に探究課題を実施 ②グループ活動・発表の内容 探究課題についてのグループ活動及び発表を実施	①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 授業プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 単元毎に自己評価・振り返りを実施

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり，基本から発展まで万遍なく理解することができている。	定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。	定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。	定期考査と小テストほ合計得点が30点未満であり，基本的な知識や概念があまり理解できていない。
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み，自分の考えを発表したり，適切に表現することができている。 発展的な内容も意欲的に学習し，身近な事物・現象に対し科学的な見方や考え方が身についている。	探究的な課題やグループ活動に取り組み，ある程度自分の考えを述べたり，表現することができている。 発展的な内容も学習し，ある程度の科学的に見方や考え方が身についている。		探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。 発展的な内容を学習することができていない。
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み，グループ活動においても積極的に発言できている。 振り返るべき内容をきちんと考え，次の取り組みにしっかり活かすことができている。	真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。 振り返るべき内容は考えられているが，次の取り組みに活かすことがあまりできていない。		学習面・活動面においてもあまり取り組む気持ちがない。 振り返るべき内容をあまり考えられていない。

学期		学　習　内　容	時数
第1学期	4月～5月	第1部　物体の運動とエネルギー 第1章　物体の運動 第1節　速度 第2節　加速度 第3節　落体の運動 【中間考査】	10 1
	6月～7月	第2章　力と運動 第1節　力 第2節　運動の法則 第3節　様々な力と運動 1章・2章　問題演習 【期末考査】	9 1
第2学期	8月～9月	第3章　仕事とエネルギー 第1節　仕事 第2節　運動エネルギー 第3節　位置エネルギー 第4節　力学的エネルギーの保存 第2部　熱とエネルギー 【中間考査】	12 1
	10月～11月	第3部　波動 第1章　波の性質 第1節　波の伝わり方 第2節　波の性質 第2章　音波 第1節　音波の性質　　第2節　音波の振動 【期末考査】	14 1
第3学期	12月～1月	第4部　電磁気 第1章　静電気と電流 第1節　静電気　　第2節　電流 第2章　交流と電磁波 第1節　電磁誘導と発電機 第2節　交流と電磁波	8
	2月～3月	第5部　物理と私たちの生活 第1章　エネルギーとその利用 第2章　物理学が拓く未来 物理基礎問題演習 【期末考査】	5 1
総　時　間　数			63

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							未創	進探	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	理科		科目名	生物基礎										
単位数	2	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →		●						

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 改訂　生物基礎(東京書籍)
② 改訂　ニューグローバル　生物基礎(東京書籍)
③
④

学　習　の　重　点　目　標

自然の事物・現象に関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験を行うことなどを通して，自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容について小テストを実施	①課題レポートの内容 単元毎に探究課題を実施 ②グループ活動・発表の内容 探究課題についてのグループ活動及び発表を実施	①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 授業プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 単元毎に自己評価・振り返りを実施

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり，基本から発展まで万遍なく理解することができている。	定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。	定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。	定期考査と小テストほ合計得点が30点未満であり，基本的な知識や概念があまり理解できていない。
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み，自分の考えを発表したり，適切に表現することができている。 発展的な内容も意欲的に学習し，身近な事物・現象に対し科学的な見方や考え方が身についている。	探究的な課題やグループ活動に取り組み，ある程度自分の考えを述べたり，表現することができている。 発展的な内容も学習し，ある程度の科学的に見方や考え方が身についている。		探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。 発展的な内容を学習することができていない。
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み，グループ活動においても積極的に発言できている。 振り返るべき内容をきちんと考え，次の取り組みにしっかり活かすことができている。	真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。 振り返るべき内容は考えられているが，次の取り組みに活かすことがあまりできていない。		学習面・活動面においてもあまり取り組む気持ちがない。 振り返るべき内容をあまり考えられていない。

学期		学　習　内　容	時数
第1学期	4月～5月	1編1章　生物の多様性と共通性　1～3節	8
		【中間考査】	1
	6月～7月	1編2章　生物とエネルギー　1～3節	5
		2編1章　遺伝情報とDNA　1～2節	4
		【期末考査】	1
第2学期	8月～9月	2編1章　遺伝情報とDNA　3節	3
		2編2章　遺伝情報とタンパク質　1～3節	5
		3編1章　体内環境と情報伝達　1～3節	6
		【中間考査】	1
	10月～11月	3編1章　体内環境と情報伝達　4節	3
		3編2章　免疫のはたらき　1～3節	9
		【期末考査】	1
第3学期	12月～1月	4編1章　植生と遷移　1～3節	9
	2月～3月	4編2章　生態系と生物の多様性　1～4節	7
		【期末考査】	1
総　時　間　数			64

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						CD	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	理科	科目名	生物基礎										
単位数	2	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →			●					

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 教科書：改訂　生物基礎（東京書籍）
② 副教材：改訂　ニューグローバル生物基礎（東京書籍）
③
④

学　習　の　重　点　目　標

生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して，生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

その際、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①定期考査 副教材の問題を中心に作問し、何を理解しているか、何ができるかを評価する。 ②小テスト 普段の学習の過程を通した知識及び習得状況について評価を行う。15分～20分程度。	①レポートの作成・提出 単元ごとに探求レポートを実施する。 ②グループでの話し合い・発表・相互評価 単元ごとにグループ活動を実施する。 ①、②を通して知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、	①授業中の態度、発言や記述の内容 ②提出物の内容 プリントや副教材の問題集の出来具合（すべての問題ができているか、答え合わせややり直しなどができているかなど）。 ③振り返り・自己評価 定期考査や小テスト、グループ活動後に自己の学習を自己評価してより主

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本的な概念や原理・法則などを理解することができている。また、基本問題よりも高度な解決能力を要する問題にも対応できる。	定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。	定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。	定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な概念や原理・法則などをあまり理解することができている。
思・判・表	探究レポートやグループ活動に能動的に取り組み、自分の考えや意見を発表したり、適切に表現できる。	探究レポートやグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えや意見を発表したり、表現できる。		探究レポートやグループ活動にあまり取り組むことができていない。
	発展・応用的な問題にも、筋道をたてて考える力や図やグラフなどを読み取り情報を活用する力を身につけることが出来る。	発展・応用的な問題に対して、さまざまな知識を活用して思考、判断することが出来る。		発展・応用的な問題にあまり取り組むことが出来ない。
主体性・態度	自然の事物・現象に主体的に関わりや見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	自然の事物・現象に関わりや見通しをもったり振り返ったりすることができる。		自然の事物・現象に関わりや見通しをもったり振り返ったりすることがあまりできない。
	毎回の授業に真剣に取り組み、提出物の出来具合も非常に良い。また、授業での積極的な発言やグループ活動での振り返りが見られるなど主体的に学習に取り組む態度が見られる。	毎回の授業に真剣に取り組み、提出物も出ており満足できる内容である。授業での発言やグループ活動へ臨む姿勢の積極性がもう少し必要である。		毎回の授業に対する姿勢や態度があまり前向きでない。提出物の内容も不十分であり、取り組みが雑でやや熱心さに欠ける。授業での発言やグループ活動へ臨む姿勢の積極性がもう少し必要である。

学期		学　習　内　容	時数
第1学期	4月～5月	1編 生物の特徴	
		1章　生物の多様性と共通性	
		1節　生物の多様性	2
		2節　生物の共通性	2
		3節　細胞の特徴	2
		〈中間考査〉	1
	6月～7月	2章　生物とエネルギー	
		1節　生体とATP	3
		2節　生体内の化学反応	3
		3節　呼吸と光合成	3
		2編　遺伝子とそのはたらき	
		1章　遺伝情報とDNA	2
		〈期末考査〉	1
第2学期	8月～9月	2節　DNAの構造	2
		3節　DNAの複製と分配	3
		2章　遺伝情報とタンパク質	
		1節　タンパク質	3
		2節　DNAとタンパク質の合成	3
		3節　細胞分化と遺伝子	2
		〈中間考査〉	1
	10月～11月	3編　ヒトの体の調節	
		1章　体内環境と情伝達	
		1節　体内環境　2節　神経系による情報伝達	3
		3節　ホルモンによる情報伝達　4節　血糖濃度の調節	3
		2章　免疫のはたらき	
		1節　免疫のしくみ　2節　免疫記憶	4
		〈期末考査〉	1
第3学期	12月～1月	3節　免疫とさまざまな疾患	2
		4編　生物の多様性と生態系	
		1章　植生と遷移	
		1節　植生とその環境	2
		2節　植生の遷移	2
		3節　遷移とバイオーム	2
	2月～3月	2章　生態系と生物の多様性	
		1節　生態系における生物の多様性	2
		2節　生態系における生物間の関係	2
		3節　生態系と攪乱	2
		4節　生態系の保全	2
		〈期末考査〉	1
総　時　間　数			61

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						未創	進探	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	外国語【英語】	科目名	英語コミュニケーションⅠ										
単位数	4	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →	●						

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① Power On English Communication Ⅰ Revised（東京書籍）
② Power On English Communication Ⅰ Revised WORKBOOK（東京書籍）
③ 英単語ターゲット１２００
④ 英単語ターゲット１２００　WORKBOOK①

学　習　の　重　点　目　標

基本的な英単語、英文法を理解する。外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、自分の意見や考えを表現し、コミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	各学期毎に、原則として中間・期末考査を実施し、その得点で評価を行う。 試験問題は、授業で学習した内容を中心に出題する。	日常の学習態度、ALTとの英会話やペアワークでの積極的な活動などを評価する。	課題や提出物の出来具合により評価する。

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで理解することができている。	定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。	定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。	定期考査と小テストの合計が30点未満であり、基本的知識や概念があまり理解できていない。
思・判・表	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができている。振り返るべき内容を表現することが十分できている。	真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。振り返るべき内容を表現することができているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		真面目に学習に取り組むことができない。振り返るべき内容をあまり考えることができていない。
	英会話やペアワーク活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。	英会話やペアワーク活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり表現することができている。		英会話やペアワーク活動にあまり取り組むことができていない。あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。
主体性・態度	課題や提出物にも計画的に取り組み、適切に表現し理解することができている。	課題や提出物にも取り組み、ある程度表現し理解することができている。		課題や提出物にあまり取り組むことができていない。

学期		学　習　内　容	時数
第1学期	4月～5月	Lesson 1 Japan's New Tourism 英会話	10 3
	6月～7月	Lesson 2 Light from Creatures Lesson 3 One Small Goal at a Time 英会話	13 10
第2学期	8月～9月	Lesson 4 Miniature Life Lesson 5 Banana Paper 英会話	10 10
	10月～11月	Lesson 6 Patterns in Human Behavior Lesson 7 No Plastic or No Future 英会話	10 10
第3学期	12月～1月	Lesson 8 Oh My God! Lesson 9　Is Esports a Real Sports? 英会話	10 10
	2月～3月	Lesson 10 Never Too Late to Learn and Relearn 英会話	6
総　時　間　数			102

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						未創	進探	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	外国語【英語】	科目名	英語コミュニケーションⅠ										
単位数	3	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →		●					

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① Revised LANDMARK Fit English Communication Ⅰ（啓林館）
② Revised LANDMARK Fit English Communication Ⅰ WORKBOOK（啓林館）
③ 英単語ターゲット1400（旺文社）
④ 英単語ターゲット1400 Workbook 1（旺文社）

学　習　の　重　点　目　標

基本的な文法事項を理解し、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、自分の意見や考えを表現し、コミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	小テスト及び定期考査による合計得点で評価する。 出題範囲は授業で取り扱った内容とワークブックから出題する。	提出物の出来具合や授業内での発言やグループ活動での発表内容で評価する。	提出物の提出状況や授業内での発言や授業への参加などの積極性を評価する。

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	定期試験と小テストの合計得点が80点以上であり、学んできた事項を理解していることが見受けられるとき。	定期考査と小テストの合計が55～79点であるとき。	定期考査と小テストの合計が30～54点であるとき。	定期考査と小テストの合計が30点未満であり、学んできた事項の基本的な知識があまり定着していないとき。
思・判・表	提出課題の内容で、学んだ事項を適切に理解できていると見受けられ、正しく応用できているとき。	課題の内容で不正確な部分はあるが、学んだ事項を使いながら、正しい文章を作ろうとしているとき。		課題や提出物に取り組めておらず、授業内でも既習事項の適切な表現を使うことができていないとき。
主体性・態度	提出物が期限内に提出されており、自己の学習内容が定着していると考えられるとき。	提出物を最終提出期限内に提出できている。		提出物が提出されておらず、自己の学習が定着していることが見受けられないとき。
	主体的に授業や活動に取り組んでおり、授業内でも積極的に発言できている。	授業内での発言をためらう傾向にあるが、授業やペア、グループでの活動に参加しようとしている。		ペアワークやグループ活動や発表にあまり積極的でない。参加しようという意欲が見られない。

学期		学　習　内　容	時数
第1学期	4月～5月	Lesson 1 Enjoy Your Journey!	11
	6月～7月	Lesson 2 Curry Travels around the World Lesson 3 What Do You Wear to School?	14
第2学期	8月～9月	Lesson 4 Eco-Tour on Yakusima Lesson 5 Communication without Words	16
	10月～11月	Lesson6 Chirori the Therapy Dog Lesson7 Cacao Revolution	18
第3学期	12月～1月	Lesson 8 The Secret Life of a Gamer Lesson 9 The Moon	10
	2月～3月	Lesson 10 The Moon	10
総　時　間　数			79

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							未創	進探	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	外国語【英語】		科目名	英語コミュニケーションⅠ										
単位数	3	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →			●					

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① Revised LANDMARK English Communication Ⅰ （啓林館）
② Revised LANDMARK English Communication Ⅰ WORKBOOK（啓林館）
③ LISTENING TRIAL Stage 1.0
④ 改訂版 必携 英単語 LEAP

学　習　の　重　点　目　標

外国語によるコミュニケーションにおいて、以下の５つの領域でそれぞれの見方・考え方を働かせる事を目標とする。また、言語活動やそれらを結びつけた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現し伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。
（１）聞くこと（２）読むこと（３）話すこと［やり取り］（４）話すこと［発表］（５）書くこと

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①定期考査の得点（教科書および副教材、単語帳の内容を中心に作問） ②小テストの得点（単語帳の内容に関して毎週小テストを実施）	①グループ・ペア活動の内容（英語で自分の考えを表現する活動を定期的に実施） ②提出物・レポート・プレゼンの内容（単元ごとに課題を実施）	①授業中の態度・意欲 ②ペア・グループ活動の態度・意欲 ③提出物の状況（問題集等）

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	定期考査と小テストの合計得点が８０点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。	定期テストと小テストの合計得点が５５～７９点である。	定期テストと小テストの合計得点が３０～５４点である。	定期考査と小テストの合計得点が３０点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。
思・判・表	探究的な課題やグループ・ペア活動に積極的に取り組み、自分自身の考えを発表したり、適切に表現できている。	探究的な課題やグループ・ペア活動に取り組み、ある程度自分自身の考えを述べたり、適切に表現できている。		探究的な課題やグループ・ペア活動にあまり取り組むことができていない。
	日常や社会的な話題について英語を通して十分に理解し、自分自身の考えをしっかりとまとめることができている。	日常や社会的な話題について英語を通してある程度理解し、自分自身の考えをまとめることができている。		日常や社会的な話題について英語を通して理解することができていない。
主体性・態度	グループ・ペア活動において相手に配慮しながら、積極的に発言することができる。	グループ・ペア活動において相手への配慮はできているが、もう少し積極性を要する部分がある。		コミュニケーションを取ることができていない。
	粘り強く学習し、前向きな姿勢で学習に取り組んでいる。	概ね良い姿勢で学習に取り組んでいる。		あまり前向きな姿勢で学習に取り組めていない。

学期		学　習　内　容	時数
第１学期	４月～５月	◎イントロダクション	1
		◎LESSON１：Unlock Your Potential	5
		◎LESSON２：Curry Travels around the World	5
		☆中間考査	1
	６月～７月	◎LESSON３：The Moon and Our Culture	6
		◎LESSON４：Eco-Tour on Yakushima	6
		☆期末考査	1
第２学期	８月～９月	◎LESSON５：Cacao Revolution	7
		◎LESSON６：Communication without Words	8
		☆中間考査	1
	10月～11月	◎LESSON７：Thank You, Bailey	9
		◎LESSON８：The Secret of a Gamer	9
		☆期末考査	1
第３学期	12月～１月	◎LESSON９：Doctors Alone Cannot Do It	10
	２月～３月	◎LESSON１０：Friendship over Time	11
		☆期末考査	1
総　時　間　数			82

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						未創	進探	特進	CD	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	外国語【英語】	科目名	論理・表現Ⅰ											
単位数	2	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →		●						

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 【Revised】Vision Quest English Logic and Expression Ⅰ Standard（啓林館）
② 【Revised】Vision Quest English Logic and Expression Ⅰ Standard WORKBOOK（啓林館）
③ Vision Quest 総合英語　4rd　Edition（啓林館）
④

学　習　の　重　点　目　標

「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して，コミュニケーションを図るために必要な発信能力を育成するとともに，論理の構成や展開を考察することで，情報や考えなどを論理的に工夫しながら伝える能力を養う。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①定期考査の得点 （考査は教科書、準拠ワークブックおよびVision Questの問題を中心に出題する。） ②小テストの得点 （単元ごとに実施する。）	①定期考査前および定期課題のへの取り組み内容 ②ライティング課題への取り組み内容 ③授業ファイルの内容	①授業中の態度や意欲 ②ペアワーク活動への取り組み ③音読活動への取り組み

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで理解することができている。	定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。	定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。	定期考査と小テストの合計が30点未満であり、基本的知識や概念があまり理解できていない。
思・判・表	日常や社会的な話題について英語を通して十分に理解し、自分自身の考えをしっかりとまとめることができている。 応用的な問題にも計画的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。	日常や社会的な話題について英語を通してある程度理解し、自分自身の考えをまとめることができている。 応用的な問題に取り組み、ある程度の思考力や判断力が身についてきている。		日常や社会的な話題について英語を通して理解することができていない。 応用的な問題にあまり取り組むことができていない。
主体性・態度	グループ・ペア活動において相手に配慮しながら、積極的に発言することができる。 粘り強く学習し、前向きな姿勢で学習に取り組んでいる。	グループ・ペア活動において相手への配慮はできているが、もう少し積極性を要する部分がある。 概ね良い姿勢で学習に取り組んでいる。		コミュニケーションを取ることができていない。 あまり前向きな姿勢で学習に取り組めていない。

学期		学　習　内　容	時数
第1学期	4月～5月	Lesson1 I want to introduce my new friends. Lesson2 Do you want to join our show? ★中間考査	8
	6月～7月	Lesson3 I'm planning a day trip this weekend. Lesson4 Have you ever tried it before? ★期末考査	8
第2学期	8月～9月	Lesson5 What do you want to do afetr school? Lesson6 Did you hear about the new shop? ★中間考査	14
	10月～11月	Lesson7 I'm happy to have you with us. Lesson8 What sport do you like playing? Lesson9 Digital media has come a long way. ★期末考査	13
第3学期	12月～1月	Lesson10 That's why I decided to go back. Lesson11 Which do you prefer, cheaper beans or more expensive ones?	8
	2月～3月	Lesson12 I think it's a good idea. ★期末考査	6
総　時　間　数			57

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						未創	進探	特進	CD	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	外国語【英語】	科目名	論理・表現Ⅰ											
単位数	2	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →			●					

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① Revised Visdon Quest English and Expression Advanced（啓林館）
② Revised Visdon Quest English and Expression Advanced ワークブック（啓林館）
③ Revised Vision Quest 総合英語 4th Edition（啓林館）
④

学　習　の　重　点　目　標

「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して，コミュニケーションを図るために必要な発信能力を育成するとともに，論理の構成や展開を考察することで，情報や考えなどを論理的に工夫しながら伝える能力を養う。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①定期考査の得点（考査は教科書、準拠ワークブックおよびVision Questの問題を中心に出題する。） ②小テストの得点（単元ごとに実施する。）	①定期考査前および定期課題のへの取り組み内容 ②ライティング課題への取り組み内容 ③授業ファイルの内容	①授業中の態度や意欲 ②ペアワーク活動への取り組み ③音読活動への取り組み

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで理解することができている。	定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。	定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。	定期考査と小テストの合計が30点未満であり、基本的知識や概念があまり理解できていない。
思・判・表	日常や社会的な話題について英語を通して十分に理解し、自分自身の考えをしっかりとまとめることができている。 応用的な問題にも計画的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。	日常や社会的な話題について英語を通してある程度理解し、自分自身の考えをまとめることができている。 応用的な問題に取り組み、ある程度の思考力や判断力が身についてきている。		日常や社会的な話題について英語を通して理解することができていない。 応用的な問題にあまり取り組むことができていない。
主体性・態度	グループ・ペア活動において相手に配慮しながら、積極的に発言することができる。 粘り強く学習し、前向きな姿勢で学習に取り組んでいる。	グループ・ペア活動において相手への配慮はできているが、もう少し積極性を要する部分がある。 概ね良い姿勢で学習に取り組んでいる。		コミュニケーションを取ることができていない。 あまり前向きな姿勢で学習に取り組めていない。

学期		学習内容	時数
第1学期	4月～5月	LESSON1 Welcome to our class! LESSON2 I attended the class recreation last week LESSON3 I'm going 中間考査	10
	6月～7月	LESSON4 I have been playing the guitar for your years LESSON5 I want to study abroad after high school 期末考査	10
第2学期	8月～9月	LESSON6 I went to a new café today LESSON7 Thank you for your support during my stay 中間考査	13
	10月～11月	LESSON8 What do you do to stay healthy? LESSON9 I found a funny video online 期末考査	14
第3学期	12月～1月	LESSON10 It is a city where you can enjoy a variety of dishes LESSON11 I believe that poverty is the biggest problem in the world	11
	2月～3月	LESSON12 Climate change has been causing serious problems 期末考査	6
総時間数			64

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							未創	進探	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	保健体育		科目名	体育(男)										
単位数	3	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →	●							

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 現代高等保健体育 改訂版（大修館書店）
② Active Sports2026［総合版］（大修館書店）
③
④

学　習　の　重　点　目　標

各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるとともに、体の調子を整え体力の向上を図る。公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①各種の運動ごとに実施する実技テスト（記録）の出来具合 ②新体力テストの出来具合 ③３学期のみ定期考査の出来具合	①各種の運動に応じた技能向上への取り組み ②グループ活動や技術達成のための取り組み ③感謝や思いやりから協力する姿勢や取り組み	①授業中の態度や意欲 ②授業への準備（服装・体操）に対する姿勢や態度 ③自己評価・振り返り・反省への態度

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	実技テストと新体力テストの合計が８０点以上であり基本的な技術が習得できている。 ３学期のみ実技テストと定期考査。	実技テストと新体力テストの合計が５５～７９点である。 ３学期のみ実技	実技テストと新体力テストの合計が３０～５４点である。 ３学期のみ実技	実技テストと新体力テストの合計が３０点未満であり、基本的な技術や知識があまり理解できていない。３学期のみ実技テストと定期考査。
思・判・表	グループ活動や課題となる運動技術の習得に積極的に取り組み、自分の考えを発言したり、適切に表現することができる。	グループ活動や課題となる運動技術の習得に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができる。		グループ活動や課題となる運動技術の習得にあまり取り組むことができていない。
	応用的な技術にも積極的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。	真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。
主体性・態度	運動技術の習得に向けて粘り強く取り組み、グループ活動やゲームでは積極的に活動することができる。	真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。
	振り返るべき内容をきちんと考えて取り組むことができ、次の練習にしっかり活かすことができている。	振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		振り返るべき内容をあまり考えることができていない。

学期		学　習　内　容	時数
第１学期	４月～５月	01.オリエンテーション 02.集団行動・体つくり運動 03.新体力テスト（スポーツテスト）① （握力・上体起こし・長座体前屈・反復横跳び） 04.高校生体操 01～05番 05.高校生体操 06～10番 06.実技テスト① 個人	8
	６月～７月	07.高校生体操 11～16番 08.高校生体操 01～16番（完） 09.実技テスト② 個人 10.実技テスト③ グループ 11.実技テスト④ グループ 評価・反省	10
第２学期	８月～９月	12.新体力テスト（スポーツテスト）② （持久走・５０m走・立ちとびハンドボール投げ） 13.陸上（リレー）バトンタッチの技術 14.記録 15.陸上（砲丸投げ）投てきの技術 16.記録 評価・反省	11
	10月～11月	17.バレーボール（レシーブ・パス・サーブ） 18.実技テスト① レシーブ 19.実技テスト② レシーブ・パス 20.実技テスト③ サーブ 21.ゲーム 評価・反省	13
第３学期	12月～１月	21.バスケットボール（ドリブル・パス・シュート） 22.実技テスト① ドリブル 23.実技テスト② パス 24.実技テスト③ レイアップシュート・ゴール下シュー 25.ゲーム 評価・反省	9
	２月～３月	26.体育理論（スポーツの発祥と発展） 27.実技理論 （集団行動・新体力テスト・陸上・武道・バレーボール） 28.★期末考査 評価・反省 ●期末考査	3 1
総　時　間　数			55

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							未創	進探	特探	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	保健体育		科目名	体育（男）										
単位数	2	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →		●	●					

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 現代高等保健体育 改訂版（大修館書店）
② Active Sports2025［総合版］（大修館書店）
③
④

学　習　の　重　点　目　標

各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるとともに、体の調子を整え体力の向上を図る。公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①各種の運動ごとに実施する実技テスト（記録）の出来具合 ②新体力テストの出来具合 ③３学期のみ定期考査の出来具合	①各種の運動に応じた技能向上への取り組み ②グループ活動や技術達成のための取り組み ③感謝や思いやりから協力する姿勢や取り組み	①授業中の態度や意欲 ②授業への準備（服装・体操）に対する姿勢や態度 ③自己評価・振り返り・反省への態度

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	実技テストと新体力テストの合計が８０点以上であり基本的な技術が習得できている。３学期のみ実技テストと定期考査。	実技テストと新体力テストの合計が５５～７９点である。３学期のみ実技	実技テストと新体力テストの合計が３０～５４点である。３学期のみ実技	実技テストと新体力テストの合計が３０点未満であり、基本的な技術や知識があまり理解できていない。３学期のみ実技テストと定期考査。
思・判・表	グループ活動や課題となる運動技術の習得に積極的に取り組み、自分の考えを発言したり、適切に表現することができる。	グループ活動や課題となる運動技術の習得に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができる。		グループ活動や課題となる運動技術の習得にあまり取り組むことができていない。
	応用的な技術にも積極的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。	真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。
主体性・態度	運動技術の習得に向けて粘り強く取り組み、グループ活動やゲームでは積極的に活動することができる。	真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。
	振り返るべき内容をきちんと考えて取り組むことができ、次の練習にしっかり活かすことができている。	振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		振り返るべき内容をあまり考えることができていない。

学期		学　習　内　容	時数
第１学期	４月～５月	01.オリエンテーション 02.集団行動・体つくり運動 03.新体力テスト（スポーツテスト）① （握力・上体起こし・長座体前屈・反復横跳び） 04.高校生体操 01～05番 05.高校生体操 06～10番 06.実技テスト① 個人	8
	６月～７月	07.高校生体操 11～16番 08.高校生体操 01～16番（完） 09.実技テスト② 個人 10.実技テスト③ グループ 11.実技テスト④ グループ 評価・反省	10
第２学期	８月～９月	12.新体力テスト（スポーツテスト）② （持久走・５０m走・立ちとびハンドボール投げ） 13.陸上（リレー）バトンタッチの技術 14.記録 15.陸上（砲丸投げ）投てきの技術 16.記録 評価・反省	11
	10月～11月	21.サッカー（ドリブル・パス・シュート） 22.実技テスト① ドリブル 23.実技テスト② パス 24.実技テスト③ シュート 25.ゲーム 評価・反省	13
第３学期	12月～１月	21.バレーボール（レシーブ・パス・サーブ） 22.実技テスト① レシーブ 23.実技テスト② レシーブ・パス 24.実技テスト③ サーブ 25.ゲーム 評価・反省	9
	２月～３月	26.体育理論（スポーツの発祥と発展） 27.実技理論 （集団行動・新体力テスト・陸上・武道・バレーボール） 28.★期末考査 評価・反省 ●期末考査	3 1
総　時　間　数			55

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							未創	進探	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	保健体育		科目名	体育(女)										
単位数	3	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →	●							

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 現代高等保健体育 改訂版（大修館書店）
② Active Sports2026［総合版］（大修館書店）
③
④

学　習　の　重　点　目　標

各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるとともに、体の調子を整え体力の向上を図る。公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①各種の運動ごとに実施する実技テスト（記録）の出来具合 ②新体力テストの出来具合 ③３学期のみ定期考査の出来具合	①各種の運動に応じた技能向上への取り組み ②グループ活動や技術達成のための取り組み ③感謝や思いやりから協力する姿勢や取り組み	①授業中の態度や意欲 ②授業への準備（服装・体操）に対する姿勢や態度 ③自己評価・振り返り・反省への態度

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	実技テストと新体力テストの合計が８０点以上であり基本的な技術が習得できている。 ３学期のみ実技テストと定期考査。	実技テストと新体力テストの合計が５５～７９点である。 ３学期のみ実技	実技テストと新体力テストの合計が３０～５４点である。 ３学期のみ実技	実技テストと新体力テストの合計が３０点未満であり、基本的な技術や知識があまり理解できていない。３学期のみ実技テストと定期考査。
思・判・表	グループ活動や課題となる運動技術の習得に積極的に取り組み、自分の考えを発言したり、適切に表現することができる。	グループ活動や課題となる運動技術の習得に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができる。		グループ活動や課題となる運動技術の習得にあまり取り組むことができていない。
	応用的な技術にも積極的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。	真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。
主体性・態度	運動技術の習得に向けて粘り強く取り組み、グループ活動やゲームでは積極的に活動することができる。	真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。
	振り返るべき内容をきちんと考えて取り組むことができ、次の練習にしっかり活かすことができている。	振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		振り返るべき内容をあまり考えることができていない。

学期		学　習　内　容	時数
第１学期	４月～５月	01.オリエンテーション 02.集団行動・体つくり運動 03.新体力テスト（スポーツテスト）① （握力・上体起こし・長座体前屈・反復横跳び） 04.高校生体操 01～05番 05.高校生体操 06～10番 06.実技テスト① 個人	8
	６月～７月	07.高校生体操 11～16番 08.高校生体操 01～16番（完） 09.実技テスト② 個人 10.実技テスト③ グループ 11.実技テスト④ グループ 評価・反省	10
第２学期	８月～９月	12.新体力テスト（スポーツテスト）② （持久走・５０m走・立ちとびハンドボール投げ） 13.陸上（リレー）バトンタッチの技術 14.記録 15.陸上（砲丸投げ）投てきの技術 16.記録 評価・反省	11
	10月～11月	17.バレーボール（レシーブ・パス・サーブ） 18.実技テスト① レシーブ 19.実技テスト② レシーブ・パス 20.実技テスト③ サーブ 21.ゲーム 評価・反省	13
第３学期	12月～１月	21.バスケットボール（ドリブル・パス・シュート） 22.実技テスト① ドリブル 23.実技テスト② パス 24.実技テスト③ レイアップシュート・ゴール下シュー 25.ゲーム 評価・反省	9
	２月～３月	26.体育理論（スポーツの発祥と発展） 27.実技理論 （集団行動・新体力テスト・陸上・武道・バレーボール） 28.★期末考査 評価・反省 ●期末考査	3 1
総　時　間　数			55

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							未創	進探	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	保健体育		科目名	体育(女)										
単位数	3	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →		●	●					

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 現代高等保健体育 改訂版（大修館書店）
② Active Sports2026［総合版］（大修館書店）
③
④

学　習　の　重　点　目　標

各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるとともに、体の調子を整え体力の向上を図る。公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①各種の運動ごとに実施する実技テスト（記録）の出来具合 ②新体力テストの出来具合 ③３学期のみ定期考査の出来具合	①各種の運動に応じた技能向上への取り組み ②グループ活動や技術達成のための取り組み ③感謝や思いやりから協力する姿勢や取り組み	①授業中の態度や意欲 ②授業への準備（服装・体操）に対する姿勢や態度 ③自己評価・振り返り・反省への態度

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	実技テストと新体力テストの合計が８０点以上であり基本的な技術が習得できている。 ３学期のみ実技テストと定期考査。	実技テストと新体力テストの合計が５５～７９点である。 ３学期のみ実技	実技テストと新体力テストの合計が３０～５４点である。 ３学期のみ実技	実技テストと新体力テストの合計が３０点未満であり、基本的な技術や知識があまり理解できていない。３学期のみ実技テストと定期考査。
思・判・表	グループ活動や課題となる運動技術の習得に積極的に取り組み、自分の考えを発言したり、適切に表現することができる。	グループ活動や課題となる運動技術の習得に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができる。		グループ活動や課題となる運動技術の習得にあまり取り組むことができていない。
	応用的な技術にも積極的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。	真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。
主体性・態度	運動技術の習得に向けて粘り強く取り組み、グループ活動やゲームでは積極的に活動することができる。	真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。
	振り返るべき内容をきちんと考えて取り組むことができ、次の練習にしっかり活かすことができている。	振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		振り返るべき内容をあまり考えることができていない。

学期		学　習　内　容	時数
第１学期	４月～５月	01.オリエンテーション 02.集団行動・体つくり運動 03.新体力テスト（スポーツテスト）① （握力・上体起こし・長座体前屈・反復横跳び） 04.高校生体操 01～05番 05.高校生体操 06～10番 06.実技テスト① 個人	8
	６月～７月	07.高校生体操 11～16番 08.高校生体操 01～16番（完） 09.実技テスト② 個人 10.実技テスト③ グループ 11.実技テスト④ グループ 評価・反省	10
第２学期	８月～９月	12.新体力テスト（スポーツテスト）② （持久走・５０m走・立ちとびハンドボール投げ） 13.陸上（リレー）バトンタッチの技術 14.記録 15.陸上（砲丸投げ）投てきの技術 16.記録 評価・反省	11
	10月～11月	17.バレーボール（レシーブ・パス・サーブ） 18.実技テスト① レシーブ 19.実技テスト② レシーブ・パス 20.実技テスト③ サーブ 21.ゲーム 評価・反省	13
第３学期	12月～１月	21.バスケットボール（ドリブル・パス・シュート） 22.実技テスト① ドリブル 23.実技テスト② パス 24.実技テスト③ レイアップシュート・ゴール下シュー 25.ゲーム 評価・反省	9
	２月～３月	26.体育理論（スポーツの発祥と発展） 27.実技理論 （集団行動・新体力テスト・陸上・武道・バレーボール） 28.★期末考査 評価・反省 ●期末考査	3 1
総　時　間　数			55

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							未創	進探	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	保健体育		科目名	保健										
単位数	1	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →	●							

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 教科書：現代高等保健体育 改訂版(大修館書店)
② 副教材：図説 現代高等保健体育 改訂版(大修館書店)
③
④

学　習　の　重　点　目　標

個人及び社会生活における健康・安全について理解を深める。生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書･副教材の内容を中心に作問②小テストの出来具合 教科書の学習した内容について １０分程度の小テストを実施	①課題レポートの内容 学期ごとに探究課題レポートを実施 ②グループ活動・発表の内容 探究課題などについてのグループ活動を実施	①授業態度や意欲 ②提出物の内容 プリント･ノート ③自己評価・振り返り 小テストや考査後に自己評価や振り返りを実施

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	定期考査と小テストの合計得点が８０点以上あり、基本から応用まで万遍なく理解することが出来ている。	定期考査と小テストの合計が５５～７９点である。	定期考査と小テストの合計が３０～５４点である。	定期考査と小テストの合計が３０点未満であり、基本的な知識や概念が理解出来てない。
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することが出来ている。	探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することが出来ている。		探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことが出来ていない。
	応用的な問題にも取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることが出来ている。	応用的な問題にも取り組み、ある程度な思考力や判断力が身に付けることが出来ている。		応用的な問題にあまり取り組むことが出来ていない。
主体性・態度	授業の態度も意欲も積極的であり、提出物やノートなども自ら補足説明を加えるなど自分なりのものを作っている。グループ活動も発言をしたり。まとめている	真面目に学習には取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことが出来ている。	振り返るべき内容を表現することは出来ているが、次の取り組みにはあまり活きていない。		振り返るべき内容をあまり考えることが出来ていない。

学期		学　習　内　容	時数
第1学期	4月～5月	◇オリエンテーション ◇現代社会と健康 01健康の考え方と成り立ち 02私たちの健康のすがた	3
	6月～7月	03生活習慣病の予防と回復 04がんの原因と予防 06運動と健康 07食事と健康	4
		☆期末考査	1
第2学期	8月～9月	08休養･睡眠と健康 09喫煙と健康 10飲酒と健康 11薬物乱用と健康	8
	10月～11月	15現代の感染症 16感染症の予防 17性感染症･エイズとその予防 ◇生涯を通じる健康 02思春期と健康	6
		☆期末考査	1
第3学期	12月～1月	03性意識と性行動の選択 04妊娠・出産と健康	7
	2月～3月	05避妊法と人工妊娠中絶 06結婚生活と健康	4
		☆期末考査	1
総　時　間　数			35

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							未創	進探	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	保健体育		科目名	保健										
単位数	1	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →		●	●					

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 教科書：現代高等保健体育 改訂版(大修館書店)
② 副教材：図説 現代高等保健体育 改訂版(大修館書店)
③
④

学　習　の　重　点　目　標

個人及び社会生活における健康・安全について理解を深める。生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書･副教材の内容を中心に作問②小テストの出来具合 教科書の学習した内容について １０分程度の小テストを実施	①課題レポートの内容 学期ごとに探究課題レポートを実施 ②グループ活動・発表の内容 探究課題などについてのグループ活動を実施	①授業態度や意欲 ②提出物の内容 プリント･ノート ③自己評価・振り返り 小テストや考査後に自己評価や振り返りを実施

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	定期考査と小テストの合計得点が８０点以上あり、基本から応用まで万遍なく理解することが出来ている。	定期考査と小テストの合計が５５～７９点である。	定期考査と小テストの合計が３０～５４点である。	定期考査と小テストの合計が３０点未満であり、基本的な知識や概念が理解出来てない。
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することが出来ている。	探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することが出来ている。		探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことが出来ていない。
	応用的な問題にも取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることが出来ている。	応用的な問題にも取り組み、ある程度な思考力や判断力が身に付けることが出来ている。		応用的な問題にあまり取り組むことが出来ていない。
主体性・態度	授業の態度も意欲も積極的であり、提出物やノートなども自ら補足説明を加えるなど自分なりのものを作っている。グループ活動も発言をしたり。まとめている	真面目に学習には取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことが出来ている。	振り返るべき内容を表現することは出来ているが、次の取り組みにはあまり活きていない。		振り返るべき内容をあまり考えることが出来ていない。

学期		学　習　内　容	時数
第1学期	4月～5月	◇オリエンテーション ◇現代社会と健康 01健康の考え方と成り立ち 02私たちの健康のすがた	5
	6月～7月	03生活習慣病の予防と回復 04がんの原因と予防 06運動と健康 07食事と健康	5
		☆期末考査	1
第2学期	8月～9月	08休養･睡眠と健康 09喫煙と健康 10飲酒と健康 11薬物乱用と健康	7
	10月～11月	15現代の感染症 16感染症の予防 17性感染症･エイズとその予防 ◇生涯を通じる健康 02思春期と健康	7
		☆期末考査	1
第3学期	12月～1月	03性意識と性行動の選択 04妊娠・出産と健康	6
	2月～3月	05避妊法と人工妊娠中絶 06結婚生活と健康	2
		☆期末考査	1
総　時　間　数			35

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							未創	進探	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	芸術	科目名	音楽Ⅰ											
単位数	2	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →	●	●	●					●

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 高校生の音楽１
② 音楽の研究プリント
③ ワークプリント
④ クロムブック

学　習　の　重　点　目　標

音楽の幅広い活動を通じて、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる基礎的な資質・能力を育成する。

評価の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	曲想と音楽の構造か歌詞、文化的・歴史的背景などの関わりと音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能や知識が身についているか評価する。【実技試験】【定期試験】	自己のイメージをを持って音楽表現や創意工夫することや、音楽を評価しながら良さや美しさを自ら味わって聴くことが出来ているか評価する。【レポート】【実技試験】	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しもうとする態度について評価する。【レポート】【授業態度】

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	基本的な知識や技能が十分に身についており、高い理解力がある。	基本的な知識や技能が概ね身についている。	基本的な知識や技能がある程度身についている。	基礎的な知識や技能、理解力が不足しており、実技発表に反映できていない。
思・判・表	演奏方法を工夫しながら知識や技術を十分に身につけることができている。	演奏方法を工夫しながら知識や技術をある程度身につけることができている。		演奏発表をきちんと行うことができず、知識や技術を身につけることができていない。
	楽譜等の教材にあるさまざまな情報から積極性の高い演奏表現や鑑賞表現ができている。	楽譜等の教材にあるさまざまな情報から、ある程度の演奏表現や鑑賞表現ができている。		教材にあるさまざまな情報を読み取ることができず、演奏表現や鑑賞表現ができていない。
主体性・態度	積極的に楽曲鑑賞に取り組む姿勢が見られる。	楽曲鑑賞にある程度取り組む姿勢が見られる。		楽曲鑑賞に取り組もうとする姿勢が見られない。
	積極的に楽曲演奏・創作活動に取り組む姿勢が見られる。	楽曲演奏・創作活動にある程度取り組む姿勢が見られる。		楽曲演奏・創作活動に取り組もうとする姿勢が見られない。

学期		学　習　内　容	時数
第１学期	4月～5月	歌唱…歌唱①校歌他（ポピュラー）	3
		楽典…音楽理論①	1
	6月～7月	鑑賞…舞台芸術に触れよう①（ミュージカル編）	4
		器楽…リコーダー②ソロ	3
		歌唱…歌唱②（ポピュラー）	2
		実技テスト	1
		筆記試験	1
第２学期	8月～9月	歌唱…歌唱③（心の歌）	2
		鑑賞…舞台芸術に触れよう②（能楽・歌舞伎）	4
		音楽史①	2
		器楽…リコーダー②デュエット	4
		楽典…音楽理論②	2
	10月～11月	歌唱…歌唱④（合唱）	2
		鑑賞…世界の民族音楽	3
		器楽…リコーダー③デュエット	4
		楽典…音楽理論③	2
		実技テスト	1
		筆記試験	1
第３学期	12月～1月	創作…作曲	4
		グループ発表	2
		楽典…音楽理論④	3
		実技テスト	1
		筆記試験	1
	2月～3月	課題レポート（1年間のまとめ）	2
総　時　間　数			55

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							未創	進探	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	芸術	科目名	美術Ⅰ											
単位数	2	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →	●	●	●					●

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 美術1（光村・美Ⅰ・０３８-９０１）
②
③
④

学　習　の　重　点　目　標

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を学び、育成することを目指す。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①作品の出来具合（作品完成度） ②レポートの出来具合	①作品の表現力（独創的・オリジナリティ） ②作品制作の進捗具合	①授業態度（教師の観察） ②学習意欲（制作進捗度合い） ③提出物等

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況） B＋	B（概ね満足できる状況） B－	C（努力を要する状況）
知・技	基本的な知識や技術が十分に理解できており、作品を作ることができている。	基本的な知識や技術が理解できており、作品を作ることができている。	基本的な知識や技術がある程度理解できており、作品を作ることができている。	基本的な知識や技術、理解力が不足し、作品を作ることができていない。
思・判・表	作品を計画的に考えながら制作し、知識や技術を身に付けることができている。	作品をある程度、計画的に考えながら制作し、知識や技術を身に付けることができている。		作品を計画的に制作することができず、知識や技術を身に付けることができていない。
思・判・表	自分の考えを独創的・オリジナリティをいかして表現することができている。	自分の考えをある程度、表現することができている。		自分の考えを思い通りに表現することができていない。
主体性・態度	積極的に鑑賞の創造活動を進んで取り組もうとしている。	鑑賞の創造活動にある程度、取り組もうとしている。		鑑賞の創造活動に取り組もうとしていない。
主体性・態度	積極的に作品作りを進んで取り組んでいる。	制作において、積極性を要する部分がある。		前向きな気持ちで制作に取り組めていない。

学期		学　習　内　容	時数
第1学期	4月～5月	・ミーティング	1
		【絵画】スケッチ	1
		【デザイン】文字のデザイン	2
		【デザイン】しおり制作	3
		【鑑賞】作品鑑賞	1
	6月～7月	【絵画】スケッチ	1
		【デザイン】デジタル練習1	3
		【デザイン】ポスター制作	4
		【デザイン】線の模様	1
		【課題】レポート	1
第2学期	8月～9月	【絵画】スケッチ	1
		【デザイン】デジタル練習2	2
		【デザイン】アニメーション	6
		【鑑賞】作品鑑賞	1
	10月～11月	【絵画】スケッチ	1
		【工芸】連続する模様	8
		【デザイン】デジタル練習3	2
		【課題】レポート	1
第3学期	12月～1月	【絵画】スケッチ	1
		【デザイン】コラージュ	6
		【デザイン】デジタル練習4	3
		【鑑賞】作品鑑賞	1
	2月～3月	【絵画】スケッチ	1
		【課題】レポート	1
総時間数			53

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						未創	進探	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	芸術	科目名	書道Ⅰ										
単位数	2	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →	●	●						

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 書Ⅰ（光村・書Ⅰ・038-901）
②
③
④

学　習　の　重　点　目　標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目指す。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①毎時間、作品の提出によって完成度を評価する ②小テストによって評価する	①作品の独創的表現力によって評価する ②作品の価値と根拠をよく考え書の良さや美しさを味和わって捉えているか評価する	①授業中の態度 ②学習意欲 ③提出物・忘れ物等

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	作品創作のための技能・知識正確に理解し十二分に身に付けている。	ほぼ理解し概ね身に付けている。	理解しようとしているがあまり身に付けていない。	理解しようとせずほとんど身に付けていない
思・判・表	創造的な構想や表現が意図的に基づいてよく工夫し表現することが十二分にできている。	創造的な構想や表現が概ねできている。		創造的な構想や表現があまりできていない。
	書に対する見方、考え方、捉え方をよく考察し述べることができる。	概ね自分の見方、考え方、捉え方を述べることができる。		書に対する自分の考え方・捉え方ができていない。
主体性・態度	積極的に与えられた課題や作品創作に取り組んでいる。	作品創作において、積極的に取り組もうとしている。		作品創作に全く取り組んでいない。
	積極的に鑑賞の各活動に取り組んでいる。	鑑賞の各活動に積極的にと取り組もうとしている。		鑑賞の各活動に取り組もうとしていない。

学期		学　習　内　容	時数
第1学期	4月～5月	書へのいざない 漢字の変遷と様々な書体 漢字の書（楷書） 孔子廟堂碑 九成宮禮泉銘 雁塔聖教序	1 2 2 2
	6月～7月	漢字の書（楷書） 顔氏家廟碑 牛撅造像記 隅寺心経 漢字の書（行書） 蘭亭序	 2 2 1 4
第2学期	8月～9月	争坐位文稿 蜀素帖 日本の書　風信帖 三筆・三跡の書 （草書） 真草千字文	2 2 5 2
	10月～11月	（隷書） 曹全碑 （篆書） 泰山刻石 篆　刻	 3 4 8
第3学期	12月～1月	漢字創作 書初め作品 仮名の書 平仮名 変体仮名 古筆（高野切・蓬莱切）	 5 2 1 3
	2月～3月	創　作 漢字仮名交じり書	 2
総　時　間　数			55

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						未創	進探	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	家庭	科目名	家庭基礎										
単位数	2	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →	●		●					●

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 教科書：家庭基礎　自立・共生・創造（東京書籍）
②
③
④

学　習　の　重　点　目　標

生活の営みに係わる見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 人の一生と家族･家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係わる技能を身につけるようにする。
(2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構築し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を通して課題を解決する力を養う。
(3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書の内容を中心に作問 ②作品または小テストの出来具合	①練習問題や課題への取組状況や記述内容を評価。 ②単元毎の探究課題レポートの内容を評価。 ③探究課題について、グループ活動状況や発表の内容及び伝え方を評価。	①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 プリント ③各単元終了後に実施する自己評 価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	定期考査と作品または小テストの合計得点が８０点以上であり、基本から応用までまんべんなく理解することができている。	定期考査と作品または小テストの合計得点が５５～７９点である。	定期考査と作品または小テストの合計得点が３０～５４点である。	定期考査と作品または小テストの合計得点が３０点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。
思・判・表	課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけ	課題を設定し、解決策を構想することが概ねできている。		課題を設定し、解決策を構想することができていない。
		実践を評価・改善することが概ねできているが、考察したことについての根拠が曖昧であったり、論理的に表現することが十分とはいえない。		実践を評価・改善すること、考察したことについて根拠に基づいて論理的に表現することができていない。
主体性・態度	様々な人々と協同し、より良い社会の構築に向けて、各単元の課題の解決に主体的に取りんだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとしている。	課題の解決に真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		課題の解決にあまり前向きな気持ちで取り組めていない。
	自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	自分や家庭、地域の生活の充実向上につながる活動だったか考えることはできているがうまく表現できていない。		自分や家庭、地域の生活の充実向上につながる活動だったかあまり考えられない。

学期		学　習　内　容	時数
第1学期	4月～5月	第６章　食生活をつくる	9
	6月～7月	第１章　生涯を見通す	5
		第２章　人生をつくる	5
		★期末考査	1
第2学期	8月～9月	第３章　子どもと共に育つ	6
		第５章　共に生き、共に支える	6
	10月～11月	第７章　衣生活をつくる 被服実習	10
		★期末考査	1
第3学期	12月～1月	第８章　住生活をつくる	4
		第９章　経済生活を営む	5
	2月～3月	第10章　持続可能な生活を営む	2
		★期末考査	1
総　時　間　数			55

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							未創	進探	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	情報		科目名	情報Ⅰ										
単位数	2	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →	●							

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 教科書　新編　情報Ⅰ　（東京書籍　情Ⅰ００２－９０１）
② 副教材　新編　情報Ⅰ　資料ノート（東京書籍）
③
④

学　習　の　重　点　目　標

１．　情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに，情報社会と人との関わりについての理解を深めるようにする。
２．　様々な事象を情報とその結び付きとして捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
３．　情報と情報技術を適切に活用するとともに，情報社会に主体的に参画する態度を養う。

評価の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	１．期末考査にて測る ２．単元ごとに実技テストを実施	１．単元ごとの実技を含めた課題レポートにて測る ２．授業中にてグループ活動での振り返り用紙にて測る	１．授業中の様子 ２．提出物の提出率とその内容 ３．実技課題の取り組みやグループ活動での振り返り用紙の内容

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	期末考査と単元ごとの実技テストを１００点満点に換算した合計得点が８０点以上である。基本から応用まで知識と技能が習得できている。	期末考査と実技テストの合計得点が５５～７９点である。	期末考査と実技テストの合計得点が３０～５４点である。	期末考査と実技テストの合計得点が３０点未満である。基本的な知識や技能が習得できていない。
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。	探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。		探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。
	応用的な問題にも計画的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。	応用的な問題に取り組み、ある程度の思考力や判断力が身についてきている。		応用的な問題にあまり取り組むことができていない。思考力や判断力が身についていない。
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。	真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。積極性も不十分である。
	振り返るべき内容を考えて的確に表現でき、次の取り組みに有用的に活かすことができている。	振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		振り返るべき内容をあまり考えることができていない。

学期		学　習　内　容	時数
第１学期	４月～５月	第１章　情報で問題を解決する（情報モラル　著作権）	2
		パソコンの基本的な操作	2
		ワープロソフト、chromeブックの操作	2
	６月～７月	第２章　情報を伝える（コミュニケーション　デジタル表現）	3
		ワープロソフト、chromeブックを活用し表現する	2
		ワープロソフト、chromeブックを使い時間割作成	2
		ワープロソフト、chromeブックを使いレポート作成	2
		実技テスト（タイピング、ワープロソフト、chromeブック）	1
		期末考査	1
第２学期	８月～９月	第３章　コンピューターを活用する（アルゴリズム　プログラミング）	8
		表計算ソフトの基本的な操作方法	6
	10月～11月	第４章　データを活用する（インターネットの仕組み　データ分析）	8
		表計算ソフトを活用し表現する	5
		実技テスト（表計算ソフト）	1
		期末考査	1
第３学期	12月～１月	第５章　活動して提案する	4
		プレゼンテーションソフトの基本的な操作	4
	２月～３月	プレゼンテーションソフトを活用して伝える	3
		実技テスト（プレゼンテーション）	4
		★期末考査	1
総　時　間　数			62

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							未創	進探	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	情報		科目名	情報Ⅰ										
単位数	2	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →		●						

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 教科書　最新情報Ⅰ　新訂版（実教出版　情Ⅰ００７－９０２）
② 副教材　最新情報Ⅰ　新訂版　学習ノート（実教出版）
③
④

学　習　の　重　点　目　標

１．　情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに，情報社会と人との関わりについての理解を深めるようにする。
２．　様々な事象を情報とその結び付きとして捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
３．　情報と情報技術を適切に活用するとともに，情報社会に主体的に参画する態度を養う。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の趣旨	１．期末考査にて測る ２．単元ごとに実技テストを実施	１．単元ごとの実技を含めた課題レポートにて測る ２．授業中にてグループ活動での振り返り用紙にて測る	１．授業中の様子 ２．提出物の提出率とその内容 ３．実技課題の取り組みやグループ活動での振り返り用紙の内容

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	期末考査と単元ごとの実技テストを１００点満点に換算した合計得点が８０点以上である。基本から応用まで知識と技能が習得できている。	期末考査と実技テストの合計得点が５５～７９点である。	期末考査と実技テストの合計得点が３０～５４点である。	期末考査と実技テストの合計得点が３０点未満である。基本的な知識や技能が習得できていない。
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。	探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。		探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。
	応用的な問題にも計画的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。	応用的な問題に取り組み、ある程度の思考力や判断力が身についてきている。		応用的な問題にあまり取り組むことができていない。思考力や判断力が身についていない。
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。	真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。積極性も不十分である。
	振り返るべき内容を考えて的確に表現でき、次の取り組みに有用的に活かすことができている。	振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		振り返るべき内容をあまり考えることができていない。

学期		学　習　内　容	時数
第１学期	４月～５月	第１章　情報社会（著作権　知的財産権　産業財産権）	2
		Wordの基本操作	2
		Chromebookの基本操作	3
	６月～７月	第２章　情報デザイン（コミュニケーション　webページ	2
		Wordの応用操作	3
		Chromebookの応用操作	3
		実技テスト（タイピング、スライド）	1
		期末考査	1
第２学期	８月～９月	第３章　デジタル（デジタル情報の仕組み　データの圧縮）	6
		Excelの基本的な操作方法	6
	10月～11月	第４章　ネットワーク（インターネットの仕組み、データ、データ	6
		Excelを活用し表現する	6
		実技テスト（Excel）	1
		第５章　問題解決（データ収集　モデル化とシミュレーション	6
		期末考査	1
第３学期	12月～１月	第６章　プログラミング（アルゴリズム　配列）	3
		プログラミング実習	3
		プレゼンテーションソフトの基本的な操作	2
	２月～３月	プレゼンテーションソフトを活用して伝える	3
		実技テスト（プレゼンテーション　プログラミング）	1
		★期末考査	1
総　時　間　数			62

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						未創	進探	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	情報	科目名	情報Ⅰ										
単位数	2	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →			●				

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 教科書　最新情報Ⅰ　新訂版（実教出版　情Ⅰ007-902）
② 副教材　最新情報Ⅰ　新訂版　学習ノート（実教出版）
③
④

学　習　の　重　点　目　標

1．　情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに，情報社会と人との関わりについての理解を深めるようにする。
2．　様々な事象を情報とその結び付きとして捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
3．　情報と情報技術を適切に活用するとともに，情報社会に主体的に参画する態度を養う。

評価の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	1．期末考査にて測る 2．単元ごとに実技テストを実施	1．単元ごとの実技を含めた課題レポートにて測る 2．授業中にてグループ活動での振り返り用紙にて測る	1．授業中の様子 2．提出物の提出率とその内容 3．実技課題の取り組みやグループ活動での振り返り用紙の内容

評　価　の　基　準

	A（十分満足できる状況）	B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）
		B＋	B－	
知・技	期末考査と単元ごとの実技テストを１００点満点に換算した合計得点が８０点以上である。基本から応用まで知識と技能が習得できている。	期末考査と実技テストの合計得点が５５～７９点である。	期末考査と実技テストの合計得点が３０～５４点である。	期末考査と実技テストの合計得点が３０点未満である。基本的な知識や技能が習得できていない。
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。	探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。		探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。
	応用的な問題にも計画的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。	応用的な問題に取り組み、ある程度の思考力や判断力が身についてきている。		応用的な問題にあまり取り組むことができていない。思考力や判断力が身についていない。
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。	真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。積極性も不十分である。
	振り返るべき内容を考えて的確に表現でき、次の取り組みに有用的に活かすことができている。	振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		振り返るべき内容をあまり考えることができていない。

学期		学　習　内　容	時数
第1学期	4月～5月	第１章　情報社会と問題解決	4
		パソコンの基本的な操作	2
		ワープロソフトの操作	2
	6月～7月	第２章　コミュニケーションと情報デザイン	5
		ワープロソフトを活用し表現する	2
		ワープロソフトを使いレポート作成	2
		実技テスト（タイピング、ワープロソフト）	1
		期末考査	1
第2学期	8月～9月	第３章　情報のデジタル化とコンピュータ	6
		表計算ソフトの基本的な操作方法	3
		表計算ソフトを活用し表現する	3
		実技テスト（表計算ソフト）	1
	10月～11月	第４章　アルゴリズムとプログラミング	5
		プログラミング実習	4
		プログラミングテスト	1
		期末考査	1
第3学期	12月～1月	第５章　情報通信ネットワークとセキュリティ	7
	2月～3月	第６章　データ活用とシミュレーション	7
		期末考査	1
総　時　間　数			58

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							未創	進探	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	総合的な探究の時間	科目名	総合的な探究の時間											
単位数	1	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →	●							

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① ゼロから始める探究活動　課題研究メソッドＺＥＲＯ（啓林館）
②
③
④

学　習　の　重　点　目　標

地域企業との職場体験やPBLを通じ、探究のサイクルを基礎から習得する。地元産業への理解を深めるとともに、自らの考えを「ピッチトーク」の手法で端的に言語化し、相手に伝える表現力を磨く。地域の課題を自分事として捉え、他者と協働しながら主体的に解決策を模索し、自身の将来を展望する力を養う。

評　価　の　趣　旨　・　観　点

知識・技能	職場体験や企業講話を通じて、働くことの意義や地元産業の実情を正しく理解するとともに、探究の過程（課題設定・情報収集・整理分析・まとめ）に必要な手法を習得している。また、ICT機器を適切に活用して情報を整理し、ポスターやスライドなど、相手に伝わりやすい発表資料を作成する技能を身に付けている。
思考・判断・表現	企業から提示された課題に対し、収集した情報を根拠に解決策を論理的に構築している。探究のサイクルの中で、多角的な視点から物事を捉えて最適解を判断し、プレゼンテーションを通して自らの考えを表現している。また、他者との質疑応答や対話を通じて、新たな視点を取り入れながら思考を深めている。
主体性・態度	地域や企業の課題を自分事として捉え、解決に向けて周囲と協働しながら粘り強く取り組もうとしている。活動の過程で自己の変容や職業観の深まりを真摯に振り返り、探究学習で得た学びを今後の学校生活や将来のキャリア形成、地域社会への貢献へと繋げようとする、前向きで意欲的な態度が見られる。

学期		学　習　内　容	時数
第1学期	4月～5月	・オリエンテーション	2
		・探究基礎	3
	6月～7月	・社会人先生に聞く（出前授業）	2
		・探究基礎（課題分析の練習）	2
		・３年生の探究発表を聞く	3
第2学期	8月～9月	・探究基礎（企業リサーチ）	2
		・職場体験前マナー講座（出前授業）	1
		・企業の課題分析	1
		・課題解決の仮設立案	1
	10月～11月	・仮説検証のための現地調査（職場体験）	25
		・まとめポスター、スライド作成	1
		・未来塾（出前授業）	1
		・なりたい自分レポート作成	1
第3学期	12月～1月	・まとめポスター、スライド作成	6
	2月～3月	・まとめポスター、スライド作成	4
		・探究学習発表会	6
総　時　間　数			61

学　習　指　導　計　画　・　年　間　授　業　計　画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							未創	進探	特進	進文	進理	特文	特理	看護
教科名	総合的な探究の時間	科目名	総合的な探究の時間											
単位数	1	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →		●	●					

教　科　書　・　副　教　材　・　（発　行　所）

① 教科書：課題研究メソッド ２ｎｄ Ｅｄｉｔｉｏｎ（啓林館）
②
③
④

学　習　の　重　点　目　標

地域企業との職場体験やPBLを通じ、探究のサイクルを基礎から習得する。地元産業への理解を深めるとともに、自らの考えを「ピッチトーク」の手法で端的に言語化し、相手に伝える表現力を磨く。地域の課題を自分事として捉え、他者と協働しながら主体的に解決策を模索し、自身の将来を展望する力を養う。

評　価　の　趣　旨　・　観　点

知識・技能	職場体験や企業講話を通じて、働くことの意義や地元産業の実情を正しく理解するとともに、探究の過程（課題設定・情報収集・整理分析・まとめ）に必要な手法を習得している。また、ICT機器を適切に活用して情報を整理し、ポスターやスライドなど、相手に伝わりやすい発表資料を作成する技能を身に付けている。
思考・判断・表現	企業から提示された課題に対し、収集した情報を根拠に解決策を論理的に構築している。探究のサイクルの中で、多角的な視点から物事を捉えて最適解を判断し、プレゼンテーションを通して自らの考えを表現している。また、他者との質疑応答や対話を通じて、新たな視点を取り入れながら思考を深めている。
主体性・態度	地域や企業の課題を自分事として捉え、解決に向けて周囲と協働しながら粘り強く取り組もうとしている。活動の過程で自己の変容や職業観の深まりを真摯に振り返り、探究学習で得た学びを今後の学校生活や将来のキャリア形成、地域社会への貢献へと繋げようとする、前向きで意欲的な態度が見られる。

学期		学　習　内　容	時数
第1学期	4月～5月	・オリエンテーション	2
		・探究基礎	3
	6月～7月	・社会人先生に聞く（出前授業）	2
		・探究基礎（課題分析の練習）	2
		・３年生の探究発表を聞く	3
第2学期	8月～9月	・探究基礎（企業リサーチ）	2
		・職場体験前マナー講座（出前授業）	1
		・企業の課題分析	1
		・課題解決の仮設立案	1
	10月～11月	・仮説検証のための現地調査（職場体験）	25
		・まとめポスター、スライド作成	1
		・未来塾（出前授業）	1
		・なりたい自分レポート作成	1
第3学期	12月～1月	・課題まとめポスター、スライド作成	5
	2月～3月	・まとめポスター、スライド作成	4
		・探究学習発表会	6
総　時　間　数			60